

BROADCAST SIGNAL RECEPTION METHOD, BROADCAST SIGNAL TRANSMISSION METHOD, BROADCAST SIGNAL RECEIVER AND BROADCAST SIGNAL TRANSMITTER

Publication number: JP8008849

Publication date: 1996-01-12

Inventor: SHIROSUGI TAKATOSHI; BANDO YUMI; HONDA TOYOTA; TANAKA TORU; ONAMOTO SADAJI

Applicant: HITACHI LTD

Classification:

- International: H04N7/08; H04H1/00; H04N7/081; H04N7/08;
H04H1/00; H04N7/081; (IPC1-7): H04H1/00; H04N7/08;
H04N7/081

- European:

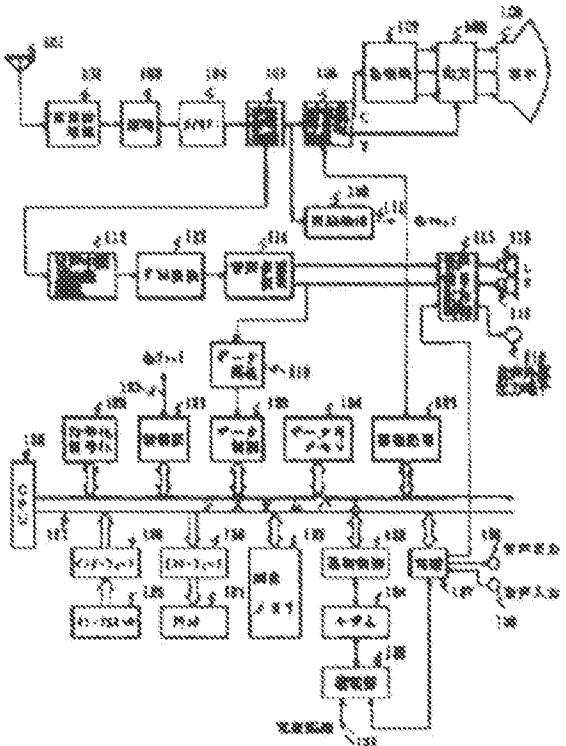
Application number: JP19940135935 19940817

Priority numbers: JP19940135935 19940817

[Report a data error here](#)

Abstract of JP8008849

PURPOSE: To let a lot of people simultaneously perform the same control by receiving broadcast signals provided with data signals including control signals and controlling a communication means by the control signals in a television receiver provided with the communication means. CONSTITUTION: The broadcast signals including the data signals are received through a broadcasting channel and are outputted from an audio multiplex demodulation part 114 as the signals of an audio frequency band. The data signals are reproduced as the data signals in a data reproduction part 119 and discriminated as the control signals and the other code strings in a data discrimination part 123. The discriminated control signals and the other code strings are transmitted through a system bus 127 to a central processing part 128, the control signals are recognized in the central processing part 126 and instruction signals are transmitted from a control part 121 to the respective parts of a facsimile equipment. The facsimile equipment performs communication with an outside according to the instruction.



(63) 普通郵便番号 (JP)

02 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-8849

(60) 公開日 平成8年(1996)1月12日

(61) Int.Cl. ³	■別記号	内閣機密番号	P.T.	技術表示箇所
H 04 N 1/00		8		
H 04 N 7/00				
7/001			H 04 N 7/00	2

審査請求 未審求 請求項の数66 CL (全33頁)

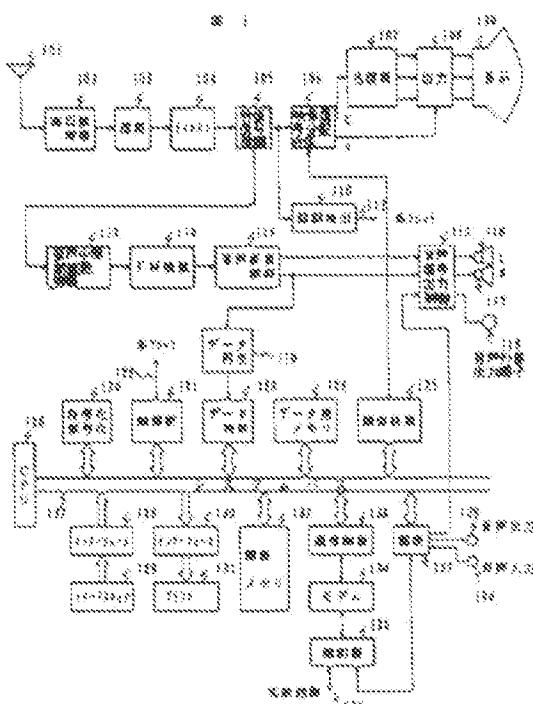
(61) 出願番号	特開平8-135936	(71) 出願人	株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河町2丁目6番地
(22) 作業日	平成8年(1996)6月17日	(72) 発明者	坂井 雅義 神奈川県横浜市戸塚区吉田町202番地 株式会社日立製作所映像メディア研究所内
		(73) 発明者	坂井 雅義 神奈川県横浜市戸塚区吉田町202番地 株式会社日立製作所映像メディア研究所内
		(74) 発明者	本多 豊太 神奈川県横浜市戸塚区吉田町202番地 株式会社日立製作所映像メディア研究所内
		(75) 代理人	弁護士 富田 和子
			最終頁に続く

(64) [発明の名稱] 放送信号受信方法及び放送信号送信方法並びに放送信号受信装置及び放送信号送信装置

(67) [要約]

【目的】通常手段を有したテレビ受信機において、料金待ちを含むデータ信号を有する放送信号を受信し、その料金信号によって通常手段の制御を行い、多くの人に同時に同一の制御を行わせる。

【構成】放送回線を介してデータ信号を含む放送信号を受信し、音声多重復調器114から音声混波装置等の信号として出力する。データ信号は、データ再生部111よりデータ信号として再生され、データ判別部123で制御信号やその他の信号類として判別される。判別された制御信号やその他の信号類はシーケンスメモリ217を介して中央処理部126に送られ、ここで制御信号が認識され、制御部121からワクランシリザ数の各部に命令が送られる。ワクランシリザ数は、この命令に従って、外部と通信を行う。



【請求項 1-4】請求項 1-記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、映像信号で変調された映像信号受信手段と、上記測量信号及びデータ信号で変調され、かつ上記映像信号受信手段と直交する映像信号受信手段とを合成した映像多路変調信号を受信し、
上記再生手段は、上記受信手段の出力信号から上記測量信号及びデータ信号を削除することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-5】請求項 1-または 2 記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、ラジオ放送信号であることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-6】請求項 1-または 2 記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、AM放送信号、FM放送信号、またはFM放送信号のいずれかであることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-7】請求項 1-5 または 1-6 記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、音声変調された上記ラジオ音声信号を復調して、左音戻信号及び副音戻信号のいずれかが少なくとも一方、またはステレオ信号を出力する多重化手段であり、

上記受信手段から出力される左音戻信号、右音戻信号及びステレオ信号の各チャンネルの信号のうちいずれか一つが上記再生手段に入力されることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-8】請求項 1-6、1-または 1-7 記載の放送信号受信装置において、

上記再生手段は、音声解説装置にかかる信号から上記測量信号及びデータ信号を再生することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-9】請求項 1-8 記載の放送信号受信装置において、

上記登録成績装置にある場合は、高音及低音域の二つの周波数帯から 1 周波数ずつ選ばれた周波数を組み合わせたものであり、

上記周波数帯の各々は、4 つの周波数で構成されていてもこれを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-10】請求項 1-5 または 1-6 記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、上記ラジオ音声信号に多重された測量信号及びデータ信号を復調して、出力し、

上記再生手段は、上記受信手段の出力から上記測量信号及びデータ信号を削除することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 1-11】請求項 1-から 1-10 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記測量入力手段及び上記再生手段から入力された

上記ディジタル信号及び上記データ信号のうち少なくとも一つは、上記測量手段で変調装置で使用されている映像信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換する映像信号変換手段を有することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-1】請求項 1-から 1-4 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記測量信号受信装置で使用されている映像信号を、上記ディジタル信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換するディジタル信号変換手段を有し、

上記変換後の信号を上記測量手段及び上記再生手段手段から出力することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-2】請求項 1-から 1-4 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記測量出力手段がめぐらす画像に対する変更信号を付ける画像出力変更手段を有することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-3】請求項 1-から 2-2 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記測量出力手段がめぐらす画像に対する変更信号を付ける画像出力変更手段を有することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-4】請求項 1-から 2-3 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記電源は、上記ディジタル信号またはデータ信号を受付け、アナログ音声信号に変換するディジタル・アナログ変換手段を有し、

上記音声出力手段は、変換後の信号を出力することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-5】請求項 1-から 2-4 のいずれかに記載の放送信号受信装置において、

上記放送信号に含まれる複数の音声信号を出力する出力手段と、

上記測量信号にあり、上記出力手段の出力する音声信号を切り替えし出力制御手段とを有することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項 2-6】外線と通信回線により通信を行う通信装置において、

データ信号及び上記測量装置を駆動するための制御信号を含む測量信号を、外線から放送装置を介して受信する受信手段と、

上記受信手段の出力信号から上記制御信号及びデータ信号を再生する再生手段と、

上記再生手段で再生された上記制御信号及びデータ信号を再生する再生手段によって、上記受信手段、再生手段、及び通信装置のうち少なくとも一つを制御する制御手段とを有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2-7】請求項 1-6 記載の通信装置において、

映像信号と音声信号とを記録及び再生する記録再生手段と、

画像情報を読み取り、読み取った画像情報を符号化してディジタル信号とする画像入力手段と、

上記ディジタル信号を外部に送り出すとともに、外線か

らのディジタル信号を受信する信号送信手段と、

上記符号送信手段が受信したディジタル符号を復号して映像として出力する映像出力手段と、
アナログ信号である音声を受付ける音声入力手段と、
上記受け取ったアナログ信号を外部に出力するとともに、
外部からアナログ信号である音声を受付けるアナログ通信手段と、
上記アナログ通信手段が受付けた音声を出力する音声出力手段と、

上記映像入力手段及び上記符号送信手段から入力された上記ディジタル符号を、上記記録再生手段で復元して、
る映像信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換する映像信号変換手段と、

上記記録再生手段が出力する映像信号を、上記ディジタル信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換するディジタル信号変換手段と、

上記記録再生手段を受け、上記映像信号変換手段の出力を上記記録再生手段に通り、トモ記録再生手段の出力のうち映像信号を上記ディジタル信号変換手段に通り、上記アナログ通信手段に入力された音声信号を上記記録再生手段に通り、上記記録再生手段の出力のうち音声信号を上記アナログ通信手段に通し入出力制御部とを有することを特徴とする通信装置。

【請求項2】 放送回線を介して放送信号を送信する放送信号送信装置において、

放送の対象となる信号とは異なる、初期信号及びデータ信号を含む送信信号で変調された、上記放送の対象となる信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号を出力するデータ変調手段と、

トモ受信部との間で接する接点とトモ放送の対象となる信号とを含めて放送信号を出力する音声手段とを有し、
上記記録信号は、上記放送信号を受信する装置を利用して得たための信号であることを特徴とする放送信号送信装置。

【請求項3】 請求項2の記載の放送信号送信装置において、

上記データ変調手段は、各戸端接続装置にある映像信号上記送信手段により変調することを特徴とする放送信号送信装置。

【請求項4】 請求項3の記載の放送信号送信装置において、

上記データ変調手段により変調された信号は、高周波及び低周波の二つの周波数帯から1周波数ずつ選択された周波数を組み合わせたものである。

上記周波数群の各々は、4つの周波数で構成されていることを特徴とする放送信号送信装置。

【請求項5】 請求項2の記載の放送信号送信装置において、

上記放送信号は、テレビ放送信号であり、

上記データ変調手段は、上記データ信号をテレビに表示される映像信号に変調することを特徴とする放送信号送

【請求項6】 請求項3の記載の放送信号送信装置において、

上記テレビに表示される映像信号は、数字、文字または記号のいずれかを表示する信号であることを特徴とする放送信号送信装置。

【請求項7】 請求項3の記載の放送信号送信装置において、

上記テレビに表示される映像信号は、バーコードを表示する信号であることを特徴とする放送信号送信装置。

【請求項8】 制御信号及びデータ信号を含む放送信号を、外線から放送回線を介して受信する放送信号受信方法において、

上記放送回線を介して上記放送信号を受信し、

上記受信された放送信号から上記制御信号及びデータ信号を再生し、

再生された上記制御信号に従って、外線との通信回線による通信後、上記受信、上記再生のうち少なくとも一つを繰り返すことを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項9】 請求項3の記載の放送信号送信方法において、

上記通信は、ファクシミリ通信及び電話による通信のうち少なくとも一つを含み、

上記ファクシミリ通信では、

映像情報を読み取り、読み取った映像情報を符号化してディジタル信号とし、

上記ディジタル信号を外線に出力するとともに、外線からのディジタル信号を受信し、

上記受信したディジタル信号を符号して映像として表示し、

上記電話による通信では、

アナログ信号である音声を受付け、

上記受付けたアナログ信号を外部に出力するとともに、外線からアナログ信号である音声を受付け、

上記受付けた音声を出力することを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項10】 請求項3の記載の放送信号受信方法において、

上記ディジタル信号にされた映像情報、外線から受信したディジタル信号、及び上記データは各のうち少なくとも一つを、上記放送信号受信方法で使用されている映像信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換することを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項11】 請求項3または5の記載の放送信号受信方法において、

上記放送信号受信方法で使用されている映像信号を、上記ディジタル信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換し、

上記変換後の信号を符号して映像として表示すること、
及び上記変換後の信号を外部に出力することとのうち少な

4とも1つを行うことを特徴とする放送信号受信方法、
【請求項3-8】請求項3-6、3-6、または3-7記載の放
送信号受信方法において、

上記受信したデジタル信号を復号して出力された映像
に対する変更指示を実行することを特徴とする放送信号
受信方法。

【請求項3-9】請求項3-5から3-6のいずれかに記載の
放送信号受信方法において、

上記データ信号を受付け、デジタルーアナログ変換に
より、アナログ音声信号に変換し、

上記変換後の信号を出力することを特徴とする放送信号
受信方法。

【請求項4-0】請求項3-5から3-9のいずれかに記載の
放送信号受信方法において、

上記映像信号に含まれる複数の音声信号のうち、上記映
像信号により、出力する音声信号を切り替えることを特
徴とする放送信号受信方法。

【請求項4-1】請求項3-5から3-9のいずれかに記載の
放送信号受信方法において、

上記映像信号により、上記データ信号が通信先を示すデ
ータであることを識別することを特徴とする放送信号受
信方法。

【請求項4-2】請求項4-1記載の放送信号受信方法にお
いて、

上記通信先を示すデータを記憶後、ファクシミリ通信また
は電話による通話のうちいずれか少なくとも一方のうち、上記映
像信号が指定する通話方法により、上記通信先を示すデータ
を示すデータに従って、通信を行うことを特徴とする
放送信号受信方法。

【請求項4-3】請求項4-1記載の放送信号受信方法にお
いて、

複数の上記通信先を示すデータを、同一グループに属す
ることが可能である複数信号とともに記憶し、

上記映像信号により同一グループに属すると判断された
上記通信先に対して、上記通信先を示すデータを用いて
隣接呼び出しを行い、通話可能な状態にある通信先を競
争し、

上記通信可能な通信先に対して通信を行うことを特徴と
する放送信号受信方法。

【請求項4-4】請求項3-5から4-3のいずれかに記載の
放送信号受信方法において、

上記映像信号に従って、上記ディジタル信号の内容を
映像として出力することを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項4-5】請求項3-5から4-3のいずれかに記載の
放送信号受信方法において、

上記映像信号に従って、上記映像信号に含まれる映像信
号を映像として出力することを特徴とする放送信号受
信方法。

【請求項4-6】外線と通信回線により通信を行う通信方
法において、

制御信号及びデータ信号を含む放送信号を外部から受信
するための放送回線を介して上記放送信号を受信し、
上記受信した信号から上記映像信号を再生し、
上記再生された上記映像信号に従って、上記通信、受
信、及び再生のうち少なくとも1つを制御することを特
徴とする通信方法。

【請求項4-7】請求項4-6記載の通信方法において、
映像信号と音声信号とを統合および再生し、
画像情報を受付け、受付けた画像情報を信号化してデジ
タル信号とし、

上記ディジタル信号を外線に送信するとともに、外線が
ものディジタル信号を受信し、

上記受信したデジタル信号を復号して映像として出力
し、

アナログ信号である音声を受付け、
上記受信したアナログ信号を外線に出力するとともに、
外線からアナログ信号である音声を受付け、

上記受信した音声を出力し、
上記映像情報を信号化したディジタル信号、および外線
からの上記ディジタル信号のうち少なくとも1つを、上
記再生時に使用している映像信号のフォーマットと
同一のフォーマットを有する信号に変換し、

上記映像信号を受けて、上記再生時に出力される映像は
外も、上記ディジタル信号のフォーマットと同一のフォ
ーマットを有する信号に変換し、
上記映像信号を受けて、上記映像信号に変換された信号
を統合し、上記再生された映像信号をデジタル信号に
変換して外線に出力し、外線から受付けた音声信号を
受信し、上記再生された音声信号を外線に出力することを
特徴とする通信方法。

【請求項4-8】請求項4-7記載の通信方法において、
上記映像信号のフォーマットに変換された信号と、音
声信号と同時に統合することを特徴とする通信方法。

【請求項4-9】請求項4-7または4-8記載の通信方法にお
いて、

再生を行う場合に、同時に再生される上記映像信号と上
記音声信号に時間差をつけて、出力し、同一の通信回線
を利用して、それそれぞれ出力することを特徴とする通信
方法。

【請求項4-10】放送回線を介して放送信号を送信する放
送信号受信方法において、

放送の対象となる信号とは異なる、映像信号及びデータ
信号を含む放送信号で変調された、上記放送の対象となる
信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号
を出力し、

上記出力された信号と上記放送の対象となる信号とを合
成して放送信号を出力し、

上記映像信号は、上記映像信号を受信する装置を制御す
るために信号であることを特徴とする放送信号受信方
法。

9

【請求項 5-1】 請求項 6 の記載の放送信号送信方法において、

上記実験時に、音声解説装置にある解説数ト記述信号により変換することを特徴とする放送信号送信方法。

【請求項 5-2】 請求項 5-1 記載の放送信号送信方法において、

上記実験された信号は、並列及び串列の2つの解説数群からも1組解説数ずつ選ばれた解説文を組み合わせたものである。

上記解説装置の各々は、4つの解説数で構成されていることを特徴とする放送信号送信方法。

【請求項 5-3】 請求項 6 の記載の放送信号送信方法において、

上記放送信号は、テレビ放送信号であり、

上記実験時に、上記データ信号をテレビに変換される映像信号に変換することを特徴とする放送信号送信方法。

【請求項 5-4】 請求項 5-3 記載の放送信号送信方法において、

上記テレビに表示される映像信号は、数字、文字または記号のいずれかを表示する信号であることを特徴とする放送信号送信方法。

【請求項 5-5】 請求項 5-3 記載の放送信号送信方法において、

上記テレビに表示される映像信号は、パッロードを使用する信号であることを特徴とする放送信号送信方法。

【請求項 5-6】 請求項 5-5 かかるまでのいずれかに記載の放送信号送信方法において、

上記実験信号は、上記解説信号により、上記データ信号が通常先を示すアタリであることを識別できるものであることを特徴とする放送信号送信方法。

【発明の詳細な説明】

【00001】

【実業上の利用分野】 本発明は、放送信号受信装置及び放送信号送信装置に係わり、特に外部からの放送信号を受信して、該信号に含まれる放送信号受信装置等を駆動する制御信号及びデータ信号を再生し、その制御信号によって外部と連携を行ふことに關する。

【00002】

【従来の技術】 通常、ビデオカメラ等で撮影した映像信号を受信して、得られた映像情報をファクシミリ装置で送出したり、ファクシミリ装置で受信した映像情報を得たモニタ画面に表示するファクシミリ装置がある。このような従来技術として、特開平2-116639号公報や特開平4-170160号公報等に記載の技術がある。

【00003】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来技術は、外部からの放送信号を受信して、該放送信号に含まれる制御信号やデータ信号を再生し、それらの信号を利用すること

と共にでは述べられていないかった。

【00004】 本発明は、ファクシミリ等の外部と連携を行う通信手段を有したテレビ受信機やラジオ受信機等の放送信号受信装置、またはテレビやラジオ等の放送信号を受信するか外部からそれらの受信信号を入力する手段を有するファクシミリ装置において、制御信号やデータ信号を含む放送信号を受信し、その制御信号によつて放送信号受信装置やファクシミリ装置を駆動したり、データ信号を利用することを目的とするものである。

【00005】

【課題を解決するための手段】 上記した目的を達成するために、本発明は、制御信号及びデータ信号を含む放送信号を、外部から放送回線を介して受信する放送信号受信装置において、上記放送回線を介して上記放送信号を受信する受信手段と、上記受信手段の出力信号から上記制御信号及びデータ信号を再生する再生手段と、外部と通信回線により連携を行う通信手段と、上記再生手段や再生された上記制御信号によって上記受信手段、再生手段、及び通信手段のうち少なくとも1つを駆動する制御手段とを有することとしたものである。

【00006】 また、外部と通信回線により連携を行う通信装置において、制御信号及びデータ信号を含む放送信号を外部から受信するための放送回線を介して上記放送信号を受信する受信手段と、上記受信手段の出力信号から上記制御信号及びデータ信号を再生する再生手段と、上記再生手段や再生された上記制御信号によって上記受信手段、再生手段、及び再生手段のうち少なくとも1つを駆動する制御手段とを有することとしたものである。

【00007】 さらに、本発明は、放送回線を介して放送信号を受信する放送信号受信装置において、放送の対象となる信号とは異なる、制御信号及びデータ信号を含む複数信号で構成された、上記放送の対象となる信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号を出力するデータ変換手段と、上記変換手段の出力する信号と上記放送の対象となる信号とを合成して放送信号を出力する合成手段とを有し、上記制御信号は、上記放送信号を受信する装置を駆動するための信号であることとしたものである。

【00008】

【構造】 上記のように構成された放送信号受信装置において、受信手段は、上記放送回線を介して上記放送信号を受信する。再生手段は、上記受信手段の出力信号から上記制御信号及びデータ信号を再生する。通信手段は、外部と通信回線により連携を行う。そして、制御手段は、上記再生手段や再生された上記制御信号によって上記受信手段、再生手段、及び通信手段のうち少なくとも1つを駆動する。

【00009】 また、外部と通信回線により連携を行う通信装置において、受信手段は、制御信号及びデータ信号のうち少なくとも1つを含む放送信号を外部から受信す

あらための放送回線を介して上記放送信号を受信する。再送手段は、上記受信手段の出力信号からと認識信号及びデータ信号を算出する。制御手段は、上記再生手段の再送された上記認識信号によって上記遙信装置、受信手段、及び再生手段のうち少なくとも1つを制御する。

【10010】 さらに、放送信号受信装置または遙信装置に対して、放送回線を介して放送信号を送信する放送信号送信装置において、データ変調手段は、放送の対象となる信号とは異なる信号をもつて、制御信号及びデータ信号を含む送信信号で変調された、上記放送の対象となる信号のアダーマットと同一のフォーマットを有する信号を出力する。上記余波手段は、上記変調手段の地元する信号と上記放送の対象となる信号とを合成して放送信号を出力する。

【10011】 上記より、ファクシミリ等の外部と通信を行う通信手段を有したテレビ受信機やラジオ受信機等の放送信号送信装置、またはテレビやラジオ等の放送信号を受信するか外部からそれら受信信号を入力する手段を有した通信装置、例えば、ファクシミリ装置において、制御信号やデータ信号を含む放送信号を受信することができる。その制御信号によって放送信号受信装置やファクシミリ装置を制御したり、データ信号を利用することができます。

【10012】 この結果、例えば、放送を聞いている多数の視聴者は一窓に複数者のファクシミリ装置やアンケート装置を放送局に送付してもらいたい場合には、複数者からのアンケート結果の送付先である放送局にあるファクシミリ装置の番号を、テレビを介して各複数者が有するファクシミリ装置内に直接セットすることができる。こうして、放送局から放送に送付先を複数者に伝えることができる。

【10013】 さらに、複数者のファクシミリ装置を制御して、自動的に放送局にアンケート結果を送付させることもできる。

【10014】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面を用いて説明する。図1は本発明の第1の実施例としての伝送手段の受信装置のブロック図であり、制御手段を含むデータ信号(以下では、該制御信号もデータ信号の一例と考え、両者を含むしてデータ信号と呼ぶ)を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。本受信機は、アンテナ101と、高周波増幅器102と、混同器103と、ダイキストラフィルタ104と、映像検波器105と、映像信号分離器106と、色度検波器107と、映像表示部108と、映像検出部109と、映像信号出力部110と、音声中継装置取扱機器112と、FM検波器113と、音声多段変調器114とは、テレビ放送信号を受信し、この信号に含まれるテレビ番号を復調する受信手段の構成をする。

もう1つの音声信号として出力される、該映像信号を含むデータ信号を再生するデータ再生部115と、映像信号変換部116と、上記映像信号によって操作するファクシミリ装置及び電話を制御して、外部との通信を行わせる制御部117と、制御信号出力部118と、データ制御部119と、データ用ノモル部120と、画像処理部121と、全体を制御する中央処理部122と、システムバス123と、インターフェース部124と、映像情報を取り扱う。読み取った映像情報を符号化してディジタル信号として出力するイメージスキャナ部125と、インターフェース部126と、上記ディジタル信号を外部に出力するとともに、外部からのディジタル信号を受信するモデム部127と、モデム部127が受信したディジタル信号を復号して画像として出力するプリンタ部128と、画像メモリ部129と、通信制御部130と、映像測定部131と、電話用部132と、アナログ信号である音声を受付ける音声入力部133と、映射部134を介して上記受けた音声を外部に出力するとともに、外端からアナログ信号である音声を發行する電話部135と、外端から受付ける音声を出力する音声出力部136とを有する。

【10015】 アンテナ101と、高周波増幅器102と、映像信号変換部116と、ダイキストラフィルタ部104と、映像信号分離器106と、音声中継装置取扱機器112と、FM検波器113と、音声多段変調器114とは、テレビ放送信号を受信し、この信号に含まれるテレビ番号を復調する受信手段の構成をする。

【10016】 制御信号変換部120と、中央処理部122と、レクサムバス123と、インターフェース部124と、映像信号出力部125と、インターフェース部126と、インターフェース部127と、プリンタ部128と、画像メモリ部129と、通信制御部130と、モデム部134と、映射部135と、電話用部132とは、ファクシミリ装置の構成を有する。

【10017】 電話部135と映射部136とは、電話用部135に音声を出力するとともに、電話用部136を通して音声を受付けるアナログ通信手段である。

【10018】 アンテナ101で受信した放送信号は高周波増幅器102で増幅、混同器103でチャネル別選査と、中継装置取扱機器への接続とが行われ、映像信号となる。映像信号は、ダイキストラフィルタ部104で、遙信側で制御されるV3色信号を補正され、映像信号復調部105では補正された映像信号から映像信号を復調し、映像信号は映像信号分離器106で色信号と映像信号に分離され、色信号は色度検波部107で復調される。映像信号と復調された色信号は映像検波部108で原色信号に復調され、映像表示部108からは映像信号を受けて映像を表示する。

【10019】 また、音声中継装置取扱機器112は映射部136と音声復調部114からの信号を受け、音声中継装置取扱機器112

通報を行い、モニタ部第1123で検出したあと音声多重処理部114で音声多重複数を行いステレオ音をまたは単音声出力。単音声信号を出力し、音声信号出力端子部116で左チャンネル用スピーカ118、右チャンネル用スピーカ117または音声外部出力端子119に音声信号を振り分ける。

【0020】映像端出部110は映像信号から水平同期信号、垂直同期信号、各映像送の映像信号等に關係のある同期信号を抽出して各部に送信する。

【0021】以上は、従来のテレビ受信機と同様の動作である。

【0022】次に、ファクシミリ機能の説明をする。イメージスキャナ部128によって読みとられた映像画像情報はインターフェース部128を介してディジタル信号に変換されたあと、映像処理部120で压缩され、映像メモリ部132に一時記憶される。この後、映像処理部123を介してモデム部124で送信され、映像端出部136で電話回線136に送出される。逆に電話回線136を通過して送られ映像端出部135で受信された映像画像情報は、モデム部124で復調され、映像処理部123を介して映像メモリ部132に一時記憶される。この後、音声化装置部126で復号され、インターフェース部130を介してプリンタ部131で提供された映像画像情報が印字。出力される。

【0023】次に、電話の説明をする。電話は、映像端出部135、電話回線136、電話部137、音声出力部138、音声入力部139で構成される。電話部137は、映像端出部135を介して電話回線136に接続され、音声出力部138、音声入力部139で音声信号が入出力される。

【0024】制御部121は、制御信号入出力133を介して各種のファクシミリ装置や電話装置の操作動作や受信動作を制御する。

【0025】以上の動作は、主にシステムバス127を介して中央処理部126で実現される。

【0026】以上は、従来のファクシミリ、電話装置と同様の動作である。

【0027】本発明では、これに加えて、次の機能がある。

【0028】映像信号受信部105で復調された映像信号は、映像部121から命令を受けて、映像信号分配部106で分配され、映像処理部123に送られる。映像処理部123は、ディジタル信号を映像信号のフォーマットに変換すること、及び逆に映像信号を二進化して、ディジタル信号に変換することを行う。

【0029】映像信号端出部を有するディジタル信号は、映像処理部120で压缩され、映像メモリ部132に一時記憶される。映像処理部123を介してモデム部124で送信される。映像端出部136に送られる、もしくは、その末尾インターフェース部130

を介してプリンタ部131で静止画像として印字、出力される。逆に、映像端出部136を通過して送られ映像端出部135で受信された映像画像情報は、モデム部124で復調され、映像処理部123を介して映像メモリ部122に一時記憶され、音声化装置部126で復号され、から映像処理部123に送られる。この後、映像端出部126で映像信号に変換され、映像信号分配部106より、映像信号端出部105で復調された映像信号と合成されるか、または映像処理部122からの映像信号のみが選択される。この後、色信号と亮度信号に分離され、色信号は映像端出部107で復調される。映像信号端出部105で復調された色信号は映像出力部108で原色信号に変換され、映像信号部122は該原色信号を受けて映像を表示する。映像信号受信装置の機能を有する映像装置も、映像処理部123で映像信号に変換される。

【0030】映像処理部123は、イメージスキャナ部128で読み取った映像情報を受信したデータ信号を映像信号に変換することも行う。この映像信号は、映像信号分配部106を介して、映像部109に送られる。

【0031】電話部137は、システムバス127からのディジタル信号をアナログ信号に変換するディジタル-アナログ変換機を有し、制御部121から命令を受けたこの動作を行う。システムバス127からのデータ信号には、前述のように含まれるデータ信号もあり、このデータ信号をアナログ信号として出力することができる。また、電話部137からの音声出力は、音声出力部138からだけではなく、音声信号出力制御部119を介して左チャンネル用スピーカ118、右チャンネル用スピーカ117または音声外部输出端子119から出力される。

【0032】音声信号出力制御部119は、制御部121から命令を受けて、副音声にデータ信号が移覚されない場合には、左チャンネル用スピーカ118、右チャンネル用スピーカ117または音声外部输出端子119から音声信号を出力しないようにする。また、常に副音声にデータ信号が移覚されている場合に、音声外部输出端子119から外部にデータ信号を出力するようにする。

【0033】次に、制御信号を含むデータ信号について説明する。本実施例は、制御信号を含むデータ信号がテレビ音声信号との割り当て信号で伝送されているテレビ放送信号を受信するものである。

【0034】制御信号を含むデータ信号は、音声多点連携部114で制御信号として出力される。そして、データ再生部119でデータ信号として再生され、データ制御部123で制御信号やその他の命令列はシステムバス127を介してデータ用メモリ部124に記憶されると共に中央処理部126で制御信号が記憶され、映像部121から各部に命令信号が送られる。制御信号や

れによる制御部121の命令を受けついでは後で説明する。

[ひりまき] 第1の実施例によれば、複数信号を含むデータ信号がテレビ端子ほどの耐雑音信号で保護されており、從來の音声參照複調波を用いることがやさしいので、複数信号を信号端子に接続することができる効果がある。

【0038】第2は第1の第1の実施例の伝送信号を対象とした伝送信号送信装置のプロトクル図である。実施例をも含むデータ信号を有するテレビ放送信号を送信するテレビ放送信号を送信するテレビ放送機である。

【のり 3 7】本送信機は、各戸番号の多段セードを示す多段制御信号の入力端子 2 0 1 と、高音声信号またはステレオ音声信号の左チャンネルの音声信号を入力する入力端子 2 0 2 上。高音声信号またはステレオ音声信号の右チャンネルの音声信号を入力する入力端子 2 0 3 上。伝送保持受信装置の制御は各戸番号データ信号の入力端子 2 0 4 上、多段制御信号を変換する多段制御部 2 0 5 上と、高音声信号とデータ信号側を切り替えるスイッチ部 2 0 6 上。データ信号が変調するデータ変換部 2 0 7 上、多段制御部 2 0 5 の出力信号と、入力端子 2 0 2 から入力された音声信号またはステレオ音声信号の左チャネルの音声信号と、スイッチ部 2 0 6 の出力信号とを入力し、音声多段信号とする音声多段変換部 2 0 8 上と、戸番多段変調部 2 0 8 の出力である音声多段信号で周波数変調する周波数変調部 2 0 9 上と、原色信号の入力端子 2 1 0 上、色別解像部の入力端子 2 1 1 上。細胞信号の入力端子 2 1 2 上と、原色信号を輝度信号と色差信号に変換するマトリクス部 2 1 3 上。輝度信号を処理する輝度信号処理部 2 1 4 上と、色差信号を処理する色差信号処理部 2 1 5 上。輝度信号処理部 2 1 4 の出力信号と色差信号処理部 2 1 5 の出力信号と入力端子 2 1 1 から入力された色動画信号と入力端子 2 1 2 から入力された音動画信号を合成して映像信号とする合成部 2 1 6 上と、合成部 2 1 6 の出力信号である映像信号を変調する映像信号変調部 2 1 7 上。映像信号変調部 2 1 7 からの出力信号を帯域制限するシーケンシャルダ部 2 1 8 上と、映像信号の変調される周波数を発生する映像搬送波発生部 2 1 9 上と、周波数変調部 2 0 9 からの出力信号とシーケンシャルダ部 2 1 8 からの出力信号を加算する形態部 2 2 0 上と、形態部 2 2 0 からの出力信号をアップコンバートしてチャンネル別送信を行なうアップコンバート部 2 2 1 上、アップコンバート部 2 2 1 の出力信号を遅延するアンチエイジング部 2 2 2 上を経る。

[10038] 赤色信号の入力端子210から入力されたRGBの三原色信号を、マトリクス部213で輝度信号と色差信号に分ける。このための信号は、輝度信号処理部214と色差信号処理部215で処理した後、色消褪遮蔽の入力端子211から入力された色消褪遮蔽とともに、同端子の入力端子212から入力された同端子号

のタイミングにより音楽部を 1.6 で合算され、最後は合となる。この映像信号で映像端末装置生成部 2.1.8 からの映像信号を映像端末装置部 2.1.7 を用いて変調して映像変調信号とし、それをフィルタ部 2.1.8 でテレビ放送装置に映像信号を送る。一方、入力端子 2.0.3 から入力された音声信号と、入力端子 2.0.5 から入力されたスイッチ部 2.0.4 で選択された音声信号は、入力端子 2.0.1 で入力された音声信号の參照コードをもつて多音源変調部 2.0.5 により変調した音声多音源信号としとともに、音声多音源部 2.0.8 に入力される。音声多音源部 2.0.8 では、多音源信号がステレオ音源信号のモードの場合には、入力した 2 つの音声信号の和信号と差信号を取り、左信号で変調を施した信号と右信号と変調多音源信号とを合成し、多音源信号をもつ音声信号のモードの場合には、計算戸は左で変調を施した信号と右音声信号と変調多音源信号とを合成する。ここで、2 音声信号のモードの場合に、入力端子 2.0.4 から入力された音声信号を含むデータ信号はデータ変調部 2.0.7 で変調を施された後、スイッチ部 2.0.6 で、入力端子 2.0.3 から入力された音声信号と切り替えて、音声信号をして音声多音源部 2.0.8 に入力される。音声多音源部 2.0.8 の出力信号である音声多音源信号が映像変調部 2.0.5 において映像変調部を経し、音声変調信号とする。音声変調信号と 2.0.8 フィルタ部 2.1.8 の間にカーブである映像端末された映像端末信号を加算部 2.2.0 で加算し、アップコンバート部 2.2.1 で加算部 2.0 からの映像信号をアップコンバートしてディジタル化処理を行う。アンテナ 2.2.1 でアノブコンバート部 2.2.1 の出力信号を送信する。

30 〔6.0.3.3〕図2の実験例によれば、制御信号を含むデータ信号をテレビ音声信号の該音声信号として多量するので、従来のテレビ受信機に対して音声の構成を遮断するだけではなく、他の多変化方態に就いても遮断であり、従来的な伝送信号該音声情報を構成することができるところに、データ信号を多量することにより他の妨害等の影響を免れることができる特徴がある。

[0040] 図3は図2の分析を各選択箇所のデータ実験結果207の一例を示すものである。図3の例は、押しボタン式電話機で接続されているいわゆるアシン・オーダー信号(ビットと空きビットの信号)であり、各戸内装置部数の4周波数で構成される高周波び低周の2つの周波数群よりそれぞれ1周波数ずつ組み合わせてデータを選択するものである。例えば、“1”をデータ信号として選択する場合には低周波数から197MHz、高周波数から1200MHzを選択してこの2つの周波数の信号相場を発生する。図3のデータ実験結果207を図3の例とした場合、図1のデータ実験結果119には次の2つの周波数の信号相場からデータ信号を選択する。

(10041) 図3の実験例によれば、10倍数でデータを30倍も増幅・変換することができるるので、複雑な系のア

(19)

実用新案登録

17

アクション番号などの数字データを複数伝送できもある。また、少ないデータ並びで初期を切ることが可能な特徴がある。

【0042】図4は図3の伝送モード選択装置を用いた装置の伝送信号送信方法において使用される、データ信号の新しいデータ配置図である。これは、図3のデータ配置方法を用いており、ファクシミリ番号を送信する場合のデータ配置である。

【0043】図4において、401は初期コードの一例、402は初期コードの電話番号、403はファクシミリ番号を送信する場合の初期コードの一例、404は初期コードの電話番号、405は第1のファクシミリ番号の一例、406は第1のファクシミリ番号の接続表示、407は第2のファクシミリ番号の一例、408は第2のファクシミリ番号の接続表示、409は第3のファクシミリ番号の一例、410は第3のファクシミリ番号の接続表示、411は終了コードの一例、412は終了コードの初期表示、413はファクシミリ番号を伝送する場合のデータ配置の一例である。初期コードには、初期コード以外では存在しない番号例を用いる。

【0044】図4のデータ配置を実現する第1の伝送信号送信方法のフローチャートを図6に示す。まず、初期コード“**0**”を3回送信する(501)、その後、初期コード“**0**”を3回送信する(502)、その後、初期コード“**0**”を3回送信する(503)。この初期コードはファクシミリ番号を送信するコードであると割り当てておく。パリティは、例えば、初期コードの各ピントを加算しその値で符号を送信する。図4の初期コード“**3265**”の例では、3+2+6+5+0=13となるので“**1**”をパリティとする。次に、ファクシミリ番号を送信を開始するが、スタート信号として“**0**”を送信し(503)、それからファクシミリ番号を送信し(504)、ストップ信号として“*****”(うなぎ線)が異なるが、以下この記号を使用する)を送信して(505)。最後にパリティを送信する(506)。パリティは初期コードの場合と同様であり、例えば、“**000000007362**”の場合は、0+0+0+0+0+0+0+0+0=0なので“**0**”をパリティとする。アドレス番号送信コードが終了したかどうかを判断し(507)、ファクシミリ番号が複数ある場合は、“**0**”からパリティまでを繰り戻す。最後のファクシミリ番号を送信した後、終了コード“**0**”を送信する(508)。

【0045】図4、図5のデータ配置、伝送信号送信方法によれば、初期コードを2回送信することにより受信側での誤解を軽減することができ、初期コードをパリティ付まで2回送信することにより受信側での初期コードの誤判別を軽減することができ、ファクシミリ番号のスタート信号、ストップ信号を送信することでファクシミリ番号の始まりと終わりを明確にして最初のうち検出に利用することができる。ファクシミリ番号にパリティを行は

(20)

実用新案登録

18

ることでファクシミリ番号の誤判別を軽減することができる。終了コードを送信することでデータ配置の区切りを明確にして受信側が検出することができる効果がある。なお、図4の例ではファクシミリ番号で説明しているが、これが電話番号でも良く、また、初期コードでファクシミリ番号と電話番号を識別するようにしておくことも可能である。さらに、ファクシミリ番号、電話番号の両方とも、内蔵番号を識別できるようにすることも可能である。

【0046】さらにもう、ファクシミリ番号、電話番号が複数で続いている場合には、1つの番号を送信し、後は番号の数を伝達するといふことができる。また、さらに、初期コードにアダクシミリ番号、電話番号で使用されないコード、例えば図3の例では“**A**”, “**B**”, “**C**”, “**D**”を適用することで誤解をさらに軽減していくことができる。

【0047】図6は、図5の第1の伝送信号送信方法に対応した第1の伝送信号受信方法のフローチャートである。

【0048】まず、初期コードの検出を2回行う(501)。検出されたら、次に初期コードを検出して(502)、パリティチェックを行い(503)、差しきれどもう一度初期コード検出(502)、パリティチェック(503)を行ってからファクシミリ番号を送信する初期コードであることを認証する(504)。認証後、スタート信号の検出を行い(505)。それからファクシミリ番号を発信(506)。ストップ信号の検出を行って(506)から、パリティチェックを行う(507)、パリティ誤りを検出したときは發信したファクシミリ番号を削除(508)。もしくは放棄しないようにし、再びファクシミリ番号受信ループに戻る。パリティチェックが正しい場合、ファクシミリ番号を認識し、終了コードが検出されるまでファクシミリ番号収集を続ける(509)。終了コードが検出された場合、データ信号の受信を終了し、FAX番号登録コードエンドの検出検索を行い(510)。データを確定する。この時、後続側では、複数に受信を行わせるために、図5のもとへ戻すよりも外れまでの送信を何回か繰り返しているので、受信側では、初期コード“**0**”をされ、“**0**”から終了コード“**0**”までを1回短く受信した後は、終了コードに絞りて、初期コードを検出してても処理は行われない。終了コードを検出してから受信開始、初期コードを検出しなかったときは、送信が終了したと判断する。送信終了をこのようにして検出することにより、受信が終了する(512)。

【0049】以上の動作中、誤りを検出し、検出のない場合は初期コード検出に戻る。また、終了コードがある一定時間受信されない場合は自動的に終了し、それまで受信したデータが不正確である可能性があるので、警報表示する等の処理を行なう。さもなくば、終了コードが検出

(11)

新規電子一覧表

19

おそれる前に初期コードを正常検出した場合も、それで受けたデータが不正確である可能性があるので、音楽受信する等の処理を行うとともに初期コード正常検出後の処理を行う。またさらに、ファクシミリ番号バリティが誤っていた場合は、バリティ誤りがあったことやその番号等を認識する。ファクシミリ番号の同一チェックを行って、次回の検出の場合に、最後でファクシミリ番号が登録されないような処理を行う。

【0060】図6の処理を図1の伝送信号受信装置に用いた場合、初期コードや初期コード後の検出は、データ検出部123で行われ、ファクシミリ番号等のデータはデータ検出部123で認識される。全体の処理は中央処理部124で実行される。

【0061】初期コードを検出した場合、または図2の伝送信号受信装置で多番号複数信号にデータ信号を多重したことに対するモードを掛けそれを検出した場合、副音声信号にはデータ信号が迷惑されているため、初期部121から、または音声多重復調部111から信号を受け、音声信号化力制御部115はスピーカ116、117の音声出力を図6に示すように音量を微細に切り替える(573)。音声外添付力操作118からの出力信号は、副音声すなわちデータ信号にするか主音声にするか選択設定できるようにする。データ信号の送信検出後はもとの音声出力モードに戻す(577)。出力の切り替えは、データ受信完了後ではなく、通信終了検出後に行う。データ受信完了後は、前述のように、まだデータの送信が行われている場合があり、その時に出力の切り替えを行うと、データ信号や変調された音声、例えば「ゼロ、ゼロ」というような好みしない音声が出力されるが防ぐられる。

【0062】初期コードを検出した場合、ファクシミリ番号を正常受信した場合、データ信号の受信を終了した場合に、それぞれ、ファクシミリ番号受信モードのスタート信号(S74)、ファクシミリ番号検出(S75)、ファクシミリ番号受信モードのエンド表示(S76)を行う。表示は、検査部125で映像信号に変換された後、映像信号分配部106で映像信号検出部107で検出された映像信号にスケーリングボードもれ、映像表示部108で表示される。

【0063】図6の伝送信号受信装置によれば、ファクシミリ番号や電話番号を自動的に受信、記録することができる。設定誤りや受信信号読み取りを失敗するところなく、また、設定の操作を迷うことのない効果がある。

【0064】図7は、図6の伝送信号受信装置により受信したファクシミリ番号や電話番号のメモリへの登録方法である。アドレスは登録したファクシミリ番号や電話番号の登録確認を示すものである。グループとは、1つの間に収容して複数のファクシミリ番号や電話番号がある場合に、それらを1つの集合として扱い、それに対して与えたグループ番号である。1つの同じ通話に対

20

して1つしか番号がない場合は、グループ番号を与えない(例では「0000」)。図7の伝送信号受信方法の場合、ファクシミリ番号や電話番号の受信モードのスタートからエンドまでの間に受信したものを探しグループにすれば良い。なお、データ信号の中にグループ番号を含むことなし、そのようなデータ信号を受信して、受信したデータ信号中のグループ番号に従ってグループを作成しても良い。番号表とは、ファクシミリ番号や複数番号を所蔵している人名、会社名を示したものであるが、図7の伝送信号受信方法で登録したものには、年月日、受信チャンネル、時間帯があり必ず自動的に入る。ここで、音楽機である最も連絡するようにしておけば、その名前を自動登録しても良い。

【0065】図7の登録方法では、1つの同じ通話に対する複数のファクシミリ番号や電話番号がある場合に、それに対して番号を与えているので、1つのファクシミリ番号や電話番号が途中の場合は次の番号でかぎらず処理を行えたり、グループ登録や消去などができる効果がある。

【0066】図8は、図6の第1の伝送信号受信方法、および図7のデータ受信方法に対応した図6の伝送信号受信方法のフローチャートであり、ファクシミリを自動送信する例である。

【0067】まず、図6で示したようにファクシミリ番号を受信し、これに対する返答で示したグループ番号を行なう(581)。ファクシミリ番号受信が終了したことを検出した後、自動発信動作に入るか、メニュー画面を表示して待機状態になる(582)か、またはそれ以外の動作に入る(583)。これらは事前に設定しておく。メニュー画面には未受信したファクシミリ番号が最初に表示されたり、スタートを選擇すれば(584)、1つのグループに属するファクシミリ番号(図7の例では、例えば、グループの欄に「0000」と示されているもの)をメモリからすべて検索する(585)。検索後、発信が始まる(586)。発信が継続されなければ、次々とグループ内の別の番号を利用して検索を試みる(587、588)。最後の番号を使用した後に最初の番号に戻る。検索が継続されたら、次にファクシミリ受信の状態を確認し、検索ができることを確認した後(589)、ファクシミリ受信を行なう(590)。

【0068】検索ならば、例えば、テレビ画面にテレビ局が表示したファクシミリ番号を見ながら視聴者がその番号をファクシミリに打ち込む操作が必要であったが、図6の伝送信号受信方法によれば、そのような操作は不要となる。また、ファクシミリ番号の記録及び発信を自動的に行なうことができる。この時間は、短い時間であるが、その間は、ファクシミリ選択内容を創作することに専念することができる効果がある。さらに、検索動作を早く行なうことができる。検索しやすくなる可

(12)

特開平3-8849

21

特性が上がり、また、取りあえず接続だけしておいてファクシミリを送信機の機能にしておいて、ファクシミリ送信内容が完成したときに郵便に送信することができる効果がある。

【006-9】図9は第2の送信機を送信方法におけるデータ信号の第2のデータ配置例であり、図3のデータ配置方法を用いており、静止画を印刷する場合のデータ配置である。

【006-10】図9において、図4と同一符号は同一機能を表し、901は制御コードの一編、902は制御コードの複数編で、903は静止画を印刷する場合のデータ配置の一例である。

【006-11】図9のデータ配置を実現する第2の伝送信号送信方法のフローチャートを図10に示す。まず、初期コード"000000"を2回送信する(810-1)。その後、制御コード"000000"とそのパリティを3回送信する(810-2)。この制御コードは静止画を印刷するコードであるとあり先めておく。パリティは、図4の番号と同様に、例えば、制御コードの各ビットを複数しその最低位符号を送信する。この場合、パリティは"?"となる。最後に、終了コード"0000"を送信する(810-3)。

【006-12】図9、図10のデータ配置、伝送信号送信方法によれば、初期コードを2回送信することにより受信側での誤解を軽減することができ、制御コードをパリティ付きで3回送信することにより受信側での制御コードの誤判別を軽減することができ、終了コードを送信することでデータ配置の区切りを明確にして受信側が検出利用することができる効果がある。

【006-13】図11は、図9、図10の第3の送信機を送信方法に対応した第3の送信機が送信方法のフローチャートである。

【006-14】まず、初期コードの検出を行なう(811-1)。検出されたら、次に制御コードを検出して(811-2)。パリティチェックを行なう(811-3)。差しきれどもう1度制御コード検出(811-2)。パリティチェックを行なう(811-3)から静止画を印刷する制御コードであることを認識する(811-4)。終了コード"0000"を検出したかどうかを判断し(811-5)。検出した場合は、データ信号の受信を終了し(811-6)、印刷を開始する(811-8)。また、印刷と並行して、図9と同様にして送信信号を送出する(811-7)。

【006-15】以上の動作中、誤りを検出した場合は初期コード検出に戻る。また、終了コードがある一連の検出されない場合は自動的に終了し、警笛表示する等の処理を行う。さらにまた、終了コードが検出される前に初期コードを正常検出した場合も、警笛表示する等の処理を行う。なお、印刷の前にファクシミリ装置の使用者に対して出力

(12)

特開平3-8849

22

を行うかどうかの選択操作を行ってもよい。

【006-16】図11の処理を図1の伝送信号送信装置に用いた場合、同期コードや無線コード等の検出は、データ割り込みまで行われ。ファクシミリ装置等のデータはデータ用メモリ部124に記憶される。全体の処理は中央処理部126で制御される。

【006-17】同期コードを検出した場合、または初期の送信信号送信装置で多重装置信号データ符号を多重したことを利用するコードを検出それを検出した場合、制御信号にはデータ信号が送信されているため、制御部123から、または音声多重装置部114から命令を受け、音声信号出力用機器115はスピーカ116、117の音声出力を音声信号に切り替える(図11の8)。音声外部出力端子116からの出力信号は、音声出力端子116からのデータ信号に対するか主音声にするか選択設定できるようにする。アート符号の送信終了後はもとの音声出力コードに戻す(812-3)。

【006-18】制御コードを検出した場合、データ信号の受信を終了した場合、印刷を始める場合、印刷を終了した場合に、それぞれ、静止画印刷コードのスタート表示(812-0)、静止画印刷コードのエンド表示(812-1)、印刷のスタート表示(812-2)、印刷のエンド表示(812-4)を行う。表示は、画像処理部125で映像信号に変換された後、映像信号分配部106で映像信号復調部105で復調された映像信号に今にスケーリングされる。映像表示部108で表示される。

【006-19】静止画は、どのようにして印刷される。映像信号復調部105で復調された映像信号は、制御部123からの令を受けて、映像信号分配部106で分配され、映像映像部108に送られる。映像映像部108は映像映像部108で二進化され静止画情報を電子ディジタル信号に変換される。静止画映像部を受けてデジタル信号は、インクアーム部130を介してプリント部131で静止画として印字、出力される。

【007-1】図11の送信機を受信方法によれば、自動的に静止画を印刷することができるので、放送番組で印刷してほしいところや雑誌に印刷してもらうことができる。また、受信側もいつも複数機の前に待機しておかなくてよく、静止画取り込みの失敗がなくなる効果がある。

【007-2】図11は本発明の第3の送信機としての送信機を受信装置のグラフィック端であり、制御信号を含むデータ信号を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。図11において、図1と同一符号は同一機能を表し、120-1はデータ信号を抽出・再生部である。

【007-3】図1と異なる点は、制御信号を含むデータ信号の受信手段である。本受信機では、制御信号を含むデータ信号がテレビ映像信号に時分割で多重されており、そのようなテレビ映像信号を受信するものである。

【007-4】映像信号復調部105で復調された映像信号

今は、調節部121から命令を受けた後は専用配分部106で分配され、映像信号分配部106は、データ信号が多量されている多量映像期間の間、データ信号が含まれた映像信号のみを映像処理部123に送る。映像処理部123は、映像信号を二値化し、静止映像情報を含むディジタル信号に変換する。静止映像情報を含むディジタル信号は、システムバス127を介してデータ用メモリ部1201に送られ、そこでデータ信号を含む映像信号が部分が抽出される。その抽出部分からデータ信号が再生され、さらに制御信号やその他の信号も別として抽出される。抽出された制御信号やその他の信号はシステムバス127を介してデータ用メモリ部1201に記憶されると共に中央処理部123で映像信号を処理され、調節部121から各部に命令信号が送られる。

【0074】図12の実施例によれば、映像信号を含むデータ信号がテレビ映像信号で受信されており、従来の映像信号改調部を用いることができる所以、経済的な映像信号受信装置を構成することができる効果がある。

【0075】図13は図12の第2の実施例の映像信号改調部における映像信号送信装置のブロック図である。制御信号を含むデータ信号を有するテレビ映像信号を選択するテレビ選択機である。図13において、図2と同様に第一映像信号入力端子1301は、データ信号をテレビに表示される映像信号に変換するデータ変換手段であるキャラクタジェネレータ部である。

【0076】入力端子1301から入力された映像信号を含むデータ信号は、キャラクタジェネレータ部1301のテンピュレーションに記号として表示されるよう変換を施された後、映像信号処理部1214や色彩信号処理部215の出力信号と、色副音送波の入力端子211から入力された色副音送波とともに、映像信号の入力端子212から入力された映像信号のタイミングにより、会声部316で合成され映像信号となる。

【0077】図13の実施例によれば、映像信号を含むデータ信号をテレビ映像信号で伝送するので、従来のテレビ選択機において余分な構成を追加することができるとともに、データ信号を多量することにより他の信号等の影響をうえることがない効果がある。

【0078】図14は図13の映像信号送信装置のキャラクタジェネレータ部1301の一例を示すものである。図14(a)において、1401は…映像信号改調部、1402はデータ信号発生部であり、通常の映像表示部を一般映像表示部1401とデータ信号表示部1402に分けている。データ信号表示部1402の位置はある一定の順序に複数化しておく。図14(b)の例ではデータ信号表示部1404にデータ信号をバーコードとして表示する。バーコードの明暗をはつきりと辨わせ、認識を容易にする。図13のキャラクタジェネレータ部1301を図14(b)の例とした場合、図12のデータ信号発生部、再生部1201は、データ信号表示部1404を抽出し、パターン認識によりバーコード判別を行うことでデータ信号を再生する。

映像の大きさ、位置も複数化しておく。図13のキャラクタジェネレータ部1301を図14(b)の例とした場合、図13のデータ信号抽出部、再生部1201は、データ信号表示部1402を抽出し、パターン認識により文字別別を行ってデータ信号を再生する。

【0079】図14(b)の実施例によれば、例えば電話番号やアカウント番号等のデータ信号を文字表示することで、データ信号と同時に視覚的に認識させることができる効果がある。

【0080】また、図14(b)において、1403は一般映像表示部、1404はデータ信号表示部であり、通常の映像表示部を一般映像表示部1401とデータ信号表示部1402に分けている。データ信号表示部1402の位置はある一定の順序に複数化しておく。図14(b)の例ではデータ信号表示部1404にデータ信号をバーコードとして表示する。バーコードの明暗をはつきりと辨わせ、認識を容易にする。図13のキャラクタジェネレータ部1301を図14(b)の例とした場合、図12のデータ信号発生部、再生部1201は、データ信号表示部1404を抽出し、パターン認識によりバーコード判別を行うことでデータ信号を再生する。

【0081】図14(b)の実施例によれば、データ信号表示部1404のバーコードを外端から、例えばライドペンのようなものを使用することなしで、容易にデータ抽出、データ再生を行うことができる効果がある。

【0082】図13は本発明の第3の実施例としての映像信号改調部のブロック図であり、映像信号を含むデータ信号を有するテレビ映像信号を受信するテレビ受信機である。図13において、図1と同一符号は同一機能を表し、1301は文字放送データ部である。

【0083】図1と異なる点は、映像信号を含むデータ信号の受信手段である。本実施例では、映像信号を含むデータ信号がテレビ映像信号の水平同期信号部分または垂直同期信号等の、テレビ画面に映像が表示されない期間に多量される。例えば、文字放送のデータの替わりに上述データ信号を送り、送達されてきた該テレビ映像信号を受信するものである。

【0084】映像信号改調部106で後押された映像信号は、映像部121から命令を受けた後は専用配分部106で分配され、映像信号分配部106は、映像信号分配部106を介して分配される。そこで、文字放送の信号を行いデータ信号が再送され、データ判別部1301で映像信号やその他の信号判別され、抽出された映像信号やその他の信号はシステムバス127を介してデータ用メモリ部1201に記憶される。抽出された映像信号やその他の信号はシステムバス127を介してデータ用メモリ部1201に記憶されると共に中央処理部123で映像信号を処理され、調節部121から各部に命令信号が送られる。

【0085】図13の実施例によれば、映像信号を含むデータ信号がテレビ映像信号に多量される文字放送データとして伝達されており、従来の文字放送データ部を

用いることができるるので、経済的な伝送信号受信装置を構成することができる効果がある。

【00086】図16は第15の第3の実施例の伝送信号受信装置に対応した伝送信号受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をテレビ映像信号の逐次解説装置に多量する文字放送のデータとして伝達するテレビ放送信号を送信するもテレビ送信機である。図16において、図2と同一符号は同一機能を表し、1601は文字放送エンコーダ部である。

【00087】入力端子212よりから入力された制御信号を含むデータ信号は、文字放送エンコーダ部1601で映像信号の逐次解説装置などに多量されるように処理された後、調度信号処理部214や色差信号処理部218の出力信号と、色副音送信部の入力端子311から入力された色副音送信部とともに、映像信号の入力端子312から入力された音頭信号のタイミングにより、合成部216で合成され映像信号となる。

【00088】図16の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号をテレビ映像信号に多量する文字放送のデータとして伝達するので、従来の文字放送エンコーダ部を用いることができ、従来的テレビ送信機に対して余分な構成を追加することなく映像信号受信装置を構成することができるとともに、データ信号を多量することにより特に映像等の影響を与えることが少ない効果がある。

【00089】図17は本発明の第4の実施例としての伝送信号受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。図17において、図1と同一符号は同一機能を表し、1701は、音声多量されたテレビ音声信号にさらに多量されたデータ信号を復調する音声多量復調部、1702はデータ識別部である。

【00090】③には、制御信号を部分的にし、制御信号等を送信していたが、本実施例では、主及び副音声が使用する周波数とは別の周波数を用いて、制御信号等を送受するものである。すなわち、制御信号を含むデータ信号がテレビ音声信号に多量されて伝送されているテレビ放送信号を受信するものである。

【00091】制御信号を含むデータ信号は、音声多量復調部1701でステレオ音声または2音声信号とは別に複数され出力される。音声多量復調部1701から出力されるデータ信号は、0、1の信号列ではあるが、0、1の完全な複数の信号列にはなっていないため、データ識別部1702で、0、1の完全な複数のデータ信号として識別(判別)され、データ識別部1702で制御信号を含む他の符号列として判別される(兼用符号を含む)。判別された制御信号やその他の符号列はシステムバス127を介してデータ用メモリ部124に記憶されると同時に空気圧調節部126で制御信号を認識され、制御部121から各部に命令信号が送られる。

【00092】図17の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号がテレビ音声信号に、ステレオ音声または2音声信号とは別に、多量されて伝送されているので、後文のテレビ放送信号の情報を読み出すことなく伝送信号受信装置を構成することができる効果がある。

【00093】図16は図17の第4の実施例の伝送信号受信装置に対応した伝送信号受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をテレビ音声信号に多量して伝達しているテレビ放送信号を受信するテレビ送信機である。図16において、図2と同一符号は同一機能を表し、1601は音声多量変調部である。

【00094】入力端子212よりから入力された制御信号を含むデータ信号は、入力端子312から入力された音声信号と、入力端子313から入力された音声信号と、入力端子314で入力された音声信号の多量モードを示す多量制御信号で多重制御信号変調部206により変調した変調多量制御信号とともに、音声多量変調部1801に入力される。音声多量変調部1801では、多量制御信号がステレオ音声信号のモードの場合、入力した2つの音声信号の和信号を差信号をとり、データ信号で変調を施した信号と差信号で変調を施した信号と和信号と変調多量制御信号とを合成し、多量制御信号が2音声信号のモードの場合、データ信号で変調を施した信号と主音声信号を変調多量制御信号とを合成する。音声多量変調部1801は、データ信号は、0、1の信号列として入力され、音声多量変調部1801において、この0、1の信号列で音声領域にある駆動波を変調する。

【00095】図18の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号をテレビ音声信号に、ステレオ音声または2音声信号とは別に多量して伝達するので、従来的テレビ放送信号の情報を読み出すことのない伝送信号受信装置を構成することができる効果がある。

【00096】図19は本発明の第5の実施例としての伝送信号受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。図12の実施例と盛なり、本実施例では、映像信号部送信部のうち使われていない周波数を用いて、データ信号を受信するものである。図19において、図1と同一符号は同一機能を表し、1901は映像信号部、1902は音声信号部、1903はデータ識別部である。

【00097】図1と異なる点は、制御信号を含むデータ信号の受信手段である。本実施例では、制御信号を含むデータ信号がテレビ映像信号と直交に多量されて伝送されているテレビ放送信号を受信するものである。

【00098】制御信号を含むデータ信号は、選局部103でチャンネル選局、中間周波数に変換された選局信号から映像信号フィルタ部1901により直交多量信号学部を経出し、直交信号復調部1902で再生映像信号

よりの複数種の異なる基準信号を用いて同期が施されることで、動作される。そして、図17のデータ判別部1702と同等の機能を有するデータ選別部1703により、データ信号として選別され、データ判別部1703で制御信号を含む他の信号群として処理される。判別された制御信号やその他の信号群はシステムバス127を介してデータ用メモリ部124に記憶されると共に字典処理部126で制御信号を認識され、制御部121から各部に命令信号が送られる。

【01030】図19の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号がテレビ映像信号と音交に多路されて伝送されているので、従来のアンプ放送信号の接続端を減らすことなく、1Mbit/s程度の多量のデータ信号を受信する伝送は多段階接続を構成することができる効果がある。

【0106】図20は図19の第1の実施例の伝送信号多段階接続に対応した送信信号接続装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をテレビ映像信号と音交に多路して伝送しているテレビ放送信号をテレビ放送信号を送信するテレビ送信機である。図20において、該2と同一符号は同一機能を示し、2001は直交信号変調器、2002は送ダイキストフィルタ部、2003は90度移相器、2004は加算器である。

【0107】合成部211の出力信号である映像信号で映像端子発生部212からの映像信号を映像信号変調部217を用いて実現して映像変調信号とし、又ももフィルタ部218でテレビ放送機器に接続される。一方、入力端子204から入力された制御信号を含むデータ信号で、90度移相部2003の出力信号である映像端子発生部212からの映像信号を90度移相した直交映像信号を、直交信号変調部2001を用いて実現して映像変調信号とし、監視機のアイキストフィルタ特性を補正する送ダイキストフィルタ部2002で直交多路信号帯域に接続される。送ダイキストフィルタ部2002の出力信号とVTRBフィルタ部212の出力である映像端子204の出力信号と映像端子212の出力信号である音声混調信号とを加算器2004で加算する。

【0108】図20の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号をテレビ映像信号と音交に多路して伝送するので、従来のテレビ放送信号の接続端を減らすことなく、1Mbit/s程度の多量のデータ信号を伝送する伝送信号接続装置を構成することができる効果がある。

【0109】図21は本発明の第1の実施例としての伝送信号接続装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号を有するランダム波信号を受信するラジオ受信機である。図21において、図1と同一の号は同一機能を示し、2101はアンテナ、2102は高周波増幅器、2103は検波器、2106は音声多路変調器、2107

は音声信号出力端子、2108は音チャンネル用スイッチャ、2109は音チャンネル用スイッチャ、2110は音声外部出力端子、2111は音声部である。

【0104】アンテナ2101で受信した放送信号は高周波増幅部2105で増幅、選局部2106でチャンネル選局、中間周波数変換部2104で変換され、選局は今となる。選局信号は、中間周波数変換部2104で増幅され、検波部2103で振幅変調または周波数変調等の操作が行われて音声混調信号となり、音声多路変調部2106で音声多路変調され、アケレオ信号または音声信号、制御信号を出力し、これら音声信号は、音声信号出力制御部2107で音チャンネル用スイッチャ2108、若チキンキル用スイッチャ2109または音声外部出力端子2110に振り分けられる。

【0105】以上は、従来のアンプ放送機と同様の動作である。また、制御信号を含むデータ信号について説明する。

【0106】本実施例は、制御信号を含むデータ信号がランダム信号の割合内信号で伝送されているラジオ放送信号を受信するものである。

【0107】制御信号を含むデータ信号は、音声多路変調部2106で制御信号として出力される。そして、データ再生部2119でデータ信号として再生され、データ判別部123で制御信号やその他の信号群として判別される。判別された制御信号やその他の信号群はシステムバス127を介してデータ用メモリ部124に記憶されると共に字典処理部126で制御信号を認識され、制御部121から各部に命令信号が送られる。

【0108】表示部2131は、伝送信号受信装置の状態表示、動作表示、または映像表示などを示す。

【0109】図21の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号がラジオ信号の制御信号で伝送されており、従来の音声多路変調部を用いることができるもので、経済的な伝送信号受信装置を構成することができる効果がある。

【0110】図22は図21の第1の実施例の伝送信号接続装置に対応した伝送信号接続装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をラジオ信号の制御信号の副音信号で伝送するラジオ放送信号を送信するラジオ送信機である。図22において、図2と同一の号は同一機能を示し、2201は音声信号の多路信号を示す多路制御信号の入力端子、2202は全音声信号またはステレオ音声信号の音チャンネルの音声信号を入力する入力端子、2203は制御信号端子またはクレーラー音声信号の音チャンネルの音声信号を入力する入力端子、2204は伝送用信号接続部の制御信号を含むデータ信号の入力端子、2205は多路制御信号を受信する多路制御信号変調部、2206は制御信号端子とデータ信号端子を切り替えるスイッチ部、2207は多路制御信号変調部2205の出力信号と、入力端子2205を介して入力された直交

芦原村またはステレオ音声信号の音楽チャンネルの音声信号と、スピーカ部2301の出力信号とを入力し、音声多路信号とする音声多路変調部2209は音声多路変調部2208の出力である音声多路信号を用いて変調する変調部2210は変調部2209からの出力信号をアップコンバートしてモザイクチャンネル制御を行うアップコンバート部2207はアップコンバート部2210の出力信号を送信するアンテナである。

【0111】入力端子2202から入力された音声信号と、入力端子2203から入力された音声信号と、入力端子2201で入力された音声信号の多路モードを用いる多路制御信号で多路制御信号変調部2205により変調した変調多路制御信号とともに、音声多路変調部2208に入力される。音声多路変調部2208では、多路制御信号がステレオ音声信号のコードの場合には、入力した2つの音声信号の和信号と差信号を取り、差信号で変調を施した信号と和信号と変調多路制御信号を合成し、多路制御信号が2音声信号のコードの場合には、割り音信号で変調を施した信号と半音戻信号と変調多路制御信号とを合成する。ここで、2音声信号のコードの場合に、入力端子2204から入力された制御信号を含むデータ信号はデータ変調部207で変調を施された後、スピーカ部2206で、入力端子2203から入力された割り音信号と一緒にされて、割り音信号としては音声多路変調部2208に入力される。音声多路変調部2208の出力信号である音声多路信号が変調部2205において報道変調または映像変調を施し音声変調信号とし、アップコンバート部2210で変調部2205からの音声変調信号をアップコンバートしてチャンネル制御を行く、アンテナ2307でアップコンバート部2210の出力信号を送信する。

【0112】図22の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号をラジオ音声信号の副音声信号として多路するので、従来のラジオ送信機に対して余分な構造を追加することなく経済的な伝送信号送信装置を構成することができるとともに、データ信号を多路することにより他の妨害等の影響を免れることがない効果がある。

【0113】図23は本発明の第7の実施例としての伝送信号送信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号を有するランダム波形信号を受信するラジオ受信機である。図23において、図21と同一符号は同一機能を表し、2301は音声多路変調部、2302はデータ識別部である。

【0114】図21と異なる点は、制御信号を含むデータ信号の受信手段である。本実施例では、制御信号を含むデータ信号がラジオ音声信号に変換されて伝送されるというラジオ受信機である。

【0115】制御信号を含むデータ信号は、音声多路変調部2301でステレオ音声または2音声信号とは別に変調され出力される。そして、データ識別部2302で

データ信号として識別され、データ識別部133で制御信号やその他の符号列として判別される。判別された制御信号やその他の符号列はシステムバス127を介してデータ制御モード部134に送信されると共に半音差緩解部130で制御信号を統合され、制御部131から各部に命令が送られる。

【0116】図33の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号がラジオ音声信号に、ステレオ音声または2音声信号とは別に、多路されて伝送されているので、複数のラジオ放送信号の接続を維持することなく伝送信号受信装置を構成することができる効果がある。

【0117】図24は図23の第7の実施例の伝送信号受信装置に対応した伝送信号送信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をラジオ音声信号に多路して伝送しているラジオ放送信号を送信するラジオ送信機である。図23において、図21と同じ符号は同一機能を表し、2401は音声多路変調部である。

【0118】入力端子2204から入力された制御信号を含むデータ信号は、入力端子2205から入力された音声信号と、入力端子2203から入力された音声信号の多路モードを用いる多路制御信号で多路制御信号変調部2205により変調した変調多路制御信号とともに、音声多路変調部2208に入力される。音声多路変調部2208では、多路制御信号がステレオ音声信号のコードの場合には、入力した2つの音声信号の和信号と差信号を取り、差信号で変調を施した信号と和信号と変調多路制御信号とともに、音声多路変調部2208に入力される。音声多路変調部2208では、多路制御信号がステレオ音声信号のコードの場合には、入力した2つの音声信号の和信号と差信号をとり、データ信号が変調を施した信号と差信号で変調を施した信号と和信号と変調多路制御信号とを合成し、多路制御信号が2音声信号のコードの場合には、データ信号で変調を施した信号と副音声信号で変調を施した信号と主音声信号と変調多路制御信号とを合成する。

【0119】図24の実施例によれば、制御信号を含むデータ信号をラジオ音声信号に、ステレオ音声または2音声信号とは別に多路して伝送するので、従来のラジオ放送信号の接続を維持することのない伝送信号送信装置を構成することができる効果がある。

【0120】なお、ラジオ放送を用いて、データ信号を送信する場合、AM放送、FM放送、PCM放送のいずれでも本発明は可能である。

【0121】図25は、後述の図31の実施例以外のすべての実施例に対して適用可能な第3の伝送信号送信方法のフローチャートであり、映像データを送信する場合の方略を示したものである。

【0122】まず、伝送信号受信装置の通信手段を電話にするか、ファクシミリにするかを、例えば、伝送用の被験者者が電話等の機体により選択し(0261)、映像装置の信号を送信するとともに、電話の場合は電話信号を、ファクシミリの場合はファクシミリ信号を送信する(0262)。その後、画像データ(例えば、被験者に回答を記入してもらうアンケート用紙)を送信し(0263)

37

(5 3) それをテレビの画面に表示、またはファクシミリに印刷するための制御コードを送信する (S 2 6 4)。複数の画像データがある場合は、再び画像データの送信を開始 (S 2 9 5)。

【0 1 2 3】 図 2 6 の伝送信号受信方法によれば、番通は今受信装置の通信手段を電話にするかファクシミリにするかを選択し、音声信号または音声信号を利用したデータ情報をするか、画像データ情報をするかを選択することができるものが、長押きからの画面を形式化することができる。また、画像データの表示、または印刷するための制御コードを送信するので、確実に画像データを出力することができる効果がある。なお、図 2 6 では画像データを送信する場合について示したが、画像データでなく通常のデータを送信してもよく、この場合はそのデータの処理方法を示す制御信号を送信すればよい。例えば音声信号をデジタルデータ化した音声データであれば、ディジタルデータの変換を行なう機械信号を送信する。等である。

【0 1 2 4】 図 2 6 は第 3 の伝送信号送信方法に対応した第 4 の伝送信号受信方法のフローチャートであり、番通信号受信装置からの送信手段を電話に選択した場合の処理を示している。

【0 1 2 5】 まず、電話番号が送られてくることを認識し、電話番号を検証する (S 2 6 1)。検証した電話番号を使用して自動発信を行う (S 2 6 2) とともに、送信されてくる画像データを受信し (S 2 6 4)、制御信号を認識して画像データを表示、または印刷する (S 2 6 5)。そして、電話の接続が確認され (S 2 6 6)、画像データの受信が終了したら、電話用の音声信号または音声信号を転換したデータを入れ替り電話を使って送信する (S 2 6 6)。複数の画像データがある場合は、再び画像データの受信を開始 (S 2 9 7)。

【0 1 2 6】 図 2 6 の伝送信号受信方法によれば、送信された画像データに対して音声信号または音声信号を転換したデータで送信を行うので、例えば、アンケート等の画像データに対して、マル、バツ等の回答や示された回答欄からの選択信号等の回答性が確認にできる効果がある。また、送信されてくるデータが音声データの場合にも、ディジタルデータを音声データに変換を行なって音声信号の要請とすれば、簡単に回答が可能である。

【0 1 2 7】 図 2 7 は本発明の第 8 の実施例としての伝送信号受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号をもつたテレビ信号を受信するテレビ受信機である。图 2 7 において、图 1 と同一符号は同一機能を表し、S 2 9 1 は、画像情報を受けて、受付けた画像情報を符号化してディジタル信号とする機能とともに、各デム 1 3 4 を介して外部から受けた画像情報を出力し、出力した画像に対する要約信号を受ける画像要約機能付きタブレット、S 2 7 0 2 はノンマスクである。

38

【0 1 2 8】 画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 は画像情報を入力することに用い、インクアーフォーム S 2 7 0 2 を介してシステムバスク 2 7 0 1 に、ディジタル信号に変換された画像情報を送信する。また次に、データ信号として送信されてきた画像データやその他の画像情報は、システムバスク 2 7 0 1 からインクアーフォーム S 2 7 0 2 を介して画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 に伝送され、画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 に画像表示される。さらに、画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 では、表示された画像に対して変更を加えることができ、変更した画像情報をインクアーフォーム S 2 7 0 2 を介してシステムバスク 2 7 0 1 に伝送することができる。

【0 1 2 9】 図 2 7 の実施例によれば、画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 は表示された画像に対して変更を加えることができるので、データ信号として送信されてきた画像データや送信した画像情報をデジタル信号化された画像信号に変更を加え、その変更した画像情報を印刷したり、外部に送信することができる効果がある。また、図 2 6 の伝送信号受信方法を図 2 7 の実施例で行うことを考えると、画像データを例えば 2 段元音楽で送信し、その楽譜と画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 の連携を外離させておけば、2 段元音楽を回答データとして送信することができる効果がある。なお、画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 のかわりに画像表示系 1 0 9 を利用したライトペン入力としてもよい。

【0 1 2 10】 図 2 8 は、図 2 5 に示す図 3 の伝送信号送信方法に対応し、図 2 7 の伝送信号受信装置の実施例を用いた第 9 の伝送信号受信方法のフローチャートである。伝送信号受信装置からの送信手段をファクシミリに選択した場合の処理を示している。

【0 1 2 11】 まず、ファクシミリ番号が送られてくることを認識し、ドミス番号を登録する (S 2 8 1)。登録したドミス番号を使用して自動発信を行う (S 2 8 2) とともに、送信されてくる画像データを受信し (S 2 8 4)、制御信号を認識して、画像データを画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 に表示する (S 2 8 5)。なお、図 2 8 に示していないが、画像データをブランクにより印刷することとしてもよい。そして、ファクシミリの接続が確認され (S 2 8 3)、画像データの受信が完了したら、送信されてきた画像情報を変更を加えるなどの画像情報を画像表示機能付きタブレット S 2 7 0 1 を用いて入力し、ファクシミリを使って送信する (S 2 8 6)。複数の画像データがある場合は、再び画像データの受信を開始 (S 2 8 7)。

【0 1 2 12】 図 2 9 の伝送信号受信方法によれば、送信されてきた画像データに対して、その画像データに変更を加えた画像情報を送信できる効果があり。例えば、接觸式等の画像データに対して変更を加えたものを回答信号とすることができる効果がある。

【0 1 2 13】 図 2 8 は本発明の第 9 の実施例としての

送信分受信装置のブロック図であり、制御信号を含むデータ信号を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。図29において、番1と同一番号は同一機能を表し、29-01は映像信号機械付タブレット、29-02はインターフェース、29-03は映像処理部である。

【0134】図29の実施例は、図27の実施例から映像信号分配部106、色度調節部107、映像出力部108、映像信号部109を省略したものであり、テレビ受信装置を、インターフェース29-02を介して、映像信号機械付タブレット29-01に接続するようにしたものである。この省略によって、映像処理部29-03は、映像処理部105の機能のうち、映像信号を入力する前の機能を持つ。

【0135】以上よりの実施例によれば、図27の効果に加え、映像信号という開端の機能をまとめるにより、送信の複雑度を小さくすることができる効果がある。

【0136】図30は本発明の第11の実施例としての送信分受信装置のブロック図であり、映像信号を含むデータ信号を有するラジオ放送信号を受信するラジオ受信機である。図31において、図21、図27と同一番号は同一機能を表す。

【0137】図30の実施例は、図27の実施例をラジオ受信機で用いたものである。

【0138】図30の実施例によれば、図27の効果に加え、ラジオ受信機であっても映像表示を行うことができる効果がある。また、表示部31-1の機能を映像表示機械付タブレット31-01に行うことや、映像表示という開端の機能をまとめることにより、送信の複雑度を小さくすることができる効果がある。

【0139】図31は本発明の第11の実施例としての送信分受信装置のブロック図であり、映像信号を含むデータ信号を有するテレビ放送信号を受信するテレビ受信機である。図31において、番1と同一番号は同一機能を表し、31-01は映像信号と音声信号の記録再生部、31-02は映像信号と音声信号の入出力制御部である。

【0140】図31の実施例は、通常の映像信号とテレビ音声信号に加えて、放送局から送信されてくる画像データ信号信号データ、ファクシミリで送られてくる画像情報、電話で送られてくる音声信号等を、記録再生部31-01、いわゆるレコードに記録、再生し、さらに、再充した映像信号、音声信号を送信するための構成である。

【0141】映像信号復調部105で復調された映像信号は、制御部121から命令を受け、映像信号分配部106で分配され、入出力制御部31-02を介して、映像処理部105に送られる。映像信号は映像処理部105の二密化されると映像情報を含むディジタル信号に変換される。静止映像情報を表すディジタル信号

は、符号化復号化部130で復解され、映像ノイズ減132にて調整され、通信制御部133を介してモジュレータ134で変調され、映射制御部135で電波周波数136に送出される。もし1つは、そのままインターフェース部139を介してプリンタ部131で静止画像として印字、表示される。逆に、電波周波数136を経て送られ映射制御部135で受信された映像画像情報は、モジュレータ134で変調され、通信制御部133を介して映像ノイズ減132にて調整され、符号化復号化部130で復号されてから映像処理部105に送られる。この後、映像処理部105で映像信号に変換され、入出力制御部31-02を介して映像信号分配部106に送られ、映像信号分配部106で、映像信号復調部105で復調された映像信号と合成されるか、または映像処理部105からの映像信号のみが選択される。この後、映像信号と音声信号に分離され、音声信号は色度調節部107で調整される。映像信号と復調された音声信号は映像出力部108で原色信号に変換され、映像表示部31-1は原色信号を受けて画像を表示する。映像表示受信装置の状態を示す表示装置等も、映像処理部105で映像信号に変換される。

【0142】電話部137は、システムバス137からのデジタル信号をアサエグ信号に変換するディジタルアサエグ変換機能を有し、映像部121からの命令を受けてこの動作を行う。また、電話部137からの音声入出力は、音声出力部138、音声入力部139からだけではなく、入出力制御部31-02を介して、音声入出力が行われる入出力制御部31-02は、制御部121から命令を受けて、音声用データ信号が多路されている場合には、音チャネル用スピーカ136、音チャネル用スピーカ137または音戸外部出力端子118からには静音化を実行しないようにする。逆に静音声にデータ信号が多路されている場合に、音戸外部出力端子118から経由してデータ信号を出力するようにする。さらに、映像信号分配部106からの映像信号を切り替えて映像信号分配部106または映像処理部105に出力する。また、音声多路復調部114からの音声信号と電話部137からの音声信号を切り替えて電話部137からの音声信号を音声出力と音声多路復調部114からの音声信号を電話137からの音声信号を切り替えて音チャネル用スピーカ136、音チャネル用スピーカ137または音戸外部出力端子118から出力する。さらにまた、電話137の音声用スピーカとして音声多路復調部114からの音声信号と電話再生部31-01からの音声信号を切り替える。

【0143】図31の実施例によれば、通常の映像信号とテレビ音声信号に加えて、放送局から送信されてくる

2

画像データや音声信号データ、ファンタジアデータ等も接続されており画像情報、電話で送られてくる音声信号等を、認識判定部3-101、いわゆるマテリに接続。同様に、さらに、両端した映像信号、音声信号を処理することができる機能がある。

[10144] 図3-3は図3-1の被験者を受信装置に対応した例6の無通話多受信方法のウェーブチャートである。図3-2(5)はファクシミリで受信した画像情報を電話で受信した音声信号の開始再生部3-1の1での送信動作、図3-2(6)は既録再生部3-1-0の内部を映像信号はファクシミリで、音声信号は電話で送信する場合の送信動作である。

[図1-4-5] 図3-3 (a) の記録動作において、まず、アクションタブで映像情報を登録する (図3-2-1)。登録した映像情報は認識メモリに登記された (図3-2-3) あと、表示され、それから映像情報を認識される (図3-2-4)。ファンタブで映像情報を登録した後、

電話で音声信号を受信する(S332)。ここで受信したる音信号と変換された映像信号を同期させて(S335), 記録再生部3101に記録する(S336). 記録映像は音声を受信している時刻とし, 音声受信終了時に何らかの印を記録する. 例えばVHSら VTRでいえば, マーク(Video Index Search System), VASS(VHSをもろともする Search System)等により記録する.

〔6-14-6〕 ③ 3-2-(b) の送信動作において、まず、把録再送就3-1-5-1の送信信号再生装置を送信するが、

他の属性情報を入力するかを選択する。登録再生部31より1の検査番号再生信号を選択した場合、マスクを再生

し（さ 3 2 7）。迷惑したい映像信号再生信号の最後部分を終止画像として抽出する（さ 3 3 0）。これを2量化してデジタル符号とし（さ 3 3 2）、符号化してファクシミリで送信する（さ 3 3 3）。他の画像情報を入力するときも（さ 3 3 1）、2量化してデジタル符号とし（さ 3 3 2）、符号化してファクシミリで送信する（さ 3 3 3）。また、認知再生部3101の音声信号が気圧力を感知するか、他の音声信号を感知するかを確認する。認知再生部3101の音声信号检测信号を測出した場合、認知再生部3101が最後信号再生信号を出力しているときには、認知再生部3101の音声信号再生信号を音声メモリに記憶し（さ 3 2 8）、ファクシミリ送信が終了した後、音声メモリから読み出し電話で送信する（さ 3 2 9）。このとき、音声メモリを使用せずに、認知再生部3101の再生位置を検索し、それから再生するようにしてもよい。他の音声信号を送信する場合は（さ 3 2 8）、ファクシミリ送信が終了した後、電話で接続する（さ 3 3 4）。

(6-1-4-7) 第3章の実験例によれば、無機溶媒と有機溶媒を効率よく乾燥、保存することができる物質がある。

【0148】図3-3は第7の伝送供給受信装置のアラームカードである。図3-3は、所らかの装置する結果を後述しておくことで、自動的にその処理を行うようとするための実現例である。ここでは、伝送供給受信装置を切っていた場合に、電源を入れない時間帯を示す制御コード、電源を入れない装置を示す制御コード、または緊急信号等の装置コードに接続して、電源を入れる電源制御を例にしている。なお、伝送供給受信装置の電源を切っていた場合にも、データ信号を復旧し、制御コードを判別したり、接続する部分の電源は入っているものとする。

【6-14-8】まず、電源を入れない状態を示す制御コード。電源を入れたい希望を示す制御コード。または緊急信号を示す制御コードを設定しておく(§3-4-3)。制御コードを復活し(§3-4-1)、制御コードを再生、判別して、設定した制御コードとの比較を行う(§3-4-2)。これが一致するかどうか判断し(§3-4-4)、一致しない場合は制御コード変更処理に進る。一致した場合は、電源を入れる電源制御を行い(§3-4-5)。電源が入ったことを確認したのちで終操作に移る。

【0156】 題33の実施例によれば、何らかの希望する効果、例えば震源制御等の処理を発定しておくことで、自動的にその処理を行ってくれるので、その処理を実行することなく使うことができる効率がある。

〔0151〕以上の場合においては、放送局が受信装置は、すべて同一の動作をするように制御されていたが、本発明は、これに限られるものではなく、制御信号またはデータ信号により、信号を受けた受信装置のうち、特定の受信装置のみが制御されることとしても良い。例えば、放送局がアンケート結果を収集する場合には、該結果を受信装置を有するすべての人たちのアンケート結果の回答を希望しないときに、特定のファクシミリ番号を有する人のみが発信できるようにしたい場合がある。この時、制御信号により特定のファクシミリ番号を有する人のみが、放送回線で送られてきた放送局のファクシミリ番号を利用して発信できるように放送局は受信装置を制御しても良い。

16162) など、以上の実験時は、被験者線が無線の
働きであるが、本發明は、これに變られるものではな
く、CATV (Cable Television) 有
線テレビ放送の被験者も適用できるものである。

【0-1-1-3】また、放送回線と通信回線は別の回線である場合について述べてきたが、本発明は、これに限られるものではなく、放送回線と通信回線が共通でも良い。例えば、1つの回線を帯域分離して、放送回線と通信回線で共用しても良い。

THE BOSTONIAN

【説明の効果】末発明によれば、アマクのモリ菌の外郎と内郎を行き来する年輪を有したアレルギー性の菌を生む微生物の外郎と内郎が共存する状態、または外郎として内郎がある状態

23

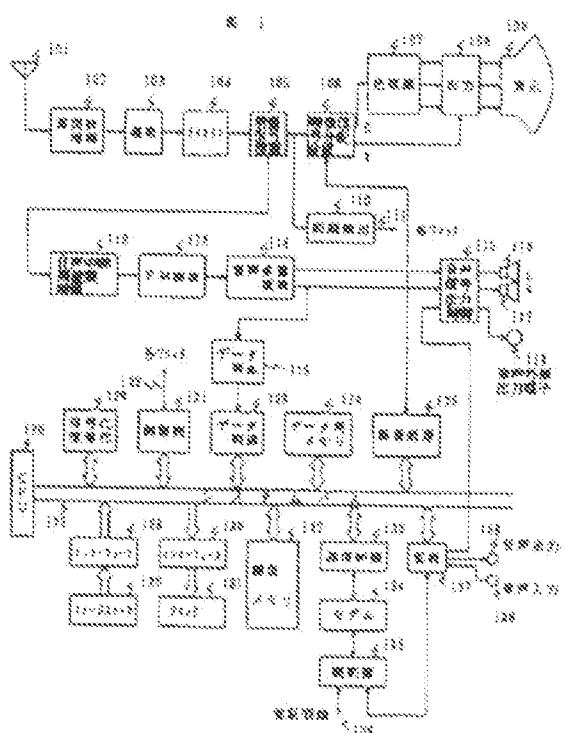
卷之三

10

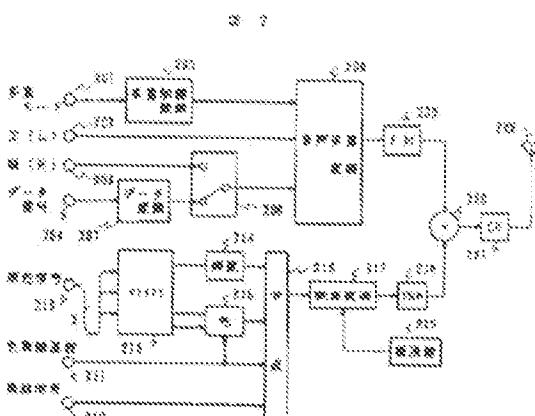
番号のモザイクセルの番号情報を入力する入力端子、204…データ追号の入力端子、205…多段階選択番号選擇部、206…スイッチ部、207…データ変換部、208…多段階重複部、209…映像装置部、210…原色信号の入力端子、311…色彩範囲表示の入力端子、212…同様番号の入力端子、213…マトリックス部、214…輝度信号処理部、215…色彩信号処理部、216…色情報部、217…映像装置送信部、218…ソリューション部、219…映像装置送信部、220…映像部、221…アップコンバート部、321…アンテナ、301…映画コード、402…画面コードの映像表示、403…ファタシミリ番号を伝送する場合の制御コード、404…映像コードの映像表示、405…第1のファタシミリ番号、406…第1のファタシミリ番号の映像表示、407…第2のファタシミリ番号、408…第3のファタシミリ番号の映像表示、409…第3のファタシミリ番号、410…第3のファタシミリ番号の映像表示、411…終了コード、412…終了コードの映像表示、413…ファタシミリ番号を伝送する場合のデータ映像、901…劇場コード、902…劇場コードの映像表示、903…動作点を切替する場合のデータ記憶、1301…データ追号接続・再生部、1301…キャラクタジオボーラー部、1401…映像装置部、1402…データ後号表示部、1403…映像装置部、1404…データ映像表示部、1501…次元

放送データ部、1 6 0 1…文字放送エンコーダ部、1 7 0 1…音声多重復調部、1 7 0 2…データ搬送部、1 8 0 1…音声多重変調部、1 9 0 1…直接送信フィルタ部、1 9 0 2…送受信モ復調部、1 9 0 3…データ搬送部、2 0 0 1…送受信モ変調部、2 0 0 2…送サイキストフィルタ部、2 0 0 3…シリアル接続部、2 0 0 4…加算部、2 1 0 1…アンテナ、2 1 0 2…両端接続部、2 1 0 3…遙測部、2 1 0 4…空間再構成部、2 1 0 5…搬送部、2 1 0 6…音声多重変調部、2 1 0 7…音声信号分析部、2 1 0 8…左チャンネル音スピーカ、2 1 0 9…右チャンネル音スピーカ、2 1 1 0…音声外部送受力端子、2 1 1 1…送分子部、2 2 0 1…多重制御信号の入力端子、2 2 0 2…主音声信号またはステレオ音声信号の左チャネルの音声信号を入力する入力端子、2 2 0 3…副音声信号またはステレオ音声信号の右チャネルの音声信号を入力する入力端子、2 2 0 4…データ信号の入力端子、2 2 0 5…多重制御信号受取部、2 2 0 6…タイムシフト部、2 2 0 7…アンテナ、2 2 0 8…音声多重変調部、2 2 0 9…変調部、2 2 1 0…アップコンバータ部、2 3 0 1…音声多重復調部、2 3 0 2…データ搬送部、2 4 0 1…音声多重変調部、2 7 0 1…直接送信モ復行モタブレット、2 7 0 2…インダーフェース、2 8 0 1…搬送装置接続付モタブレット、2 8 0 2…インターフェース、3 0 0 3…搬送装置部、3 1 0 1…記録再生部、3 1 0 2…入出力制御部。

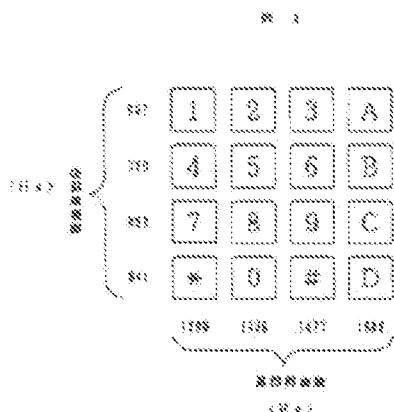
三



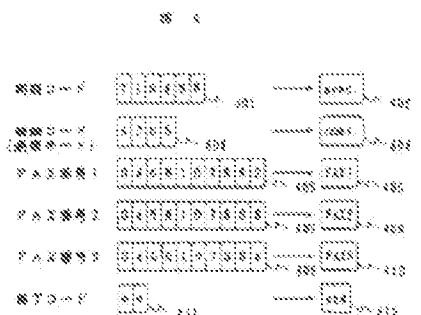
23



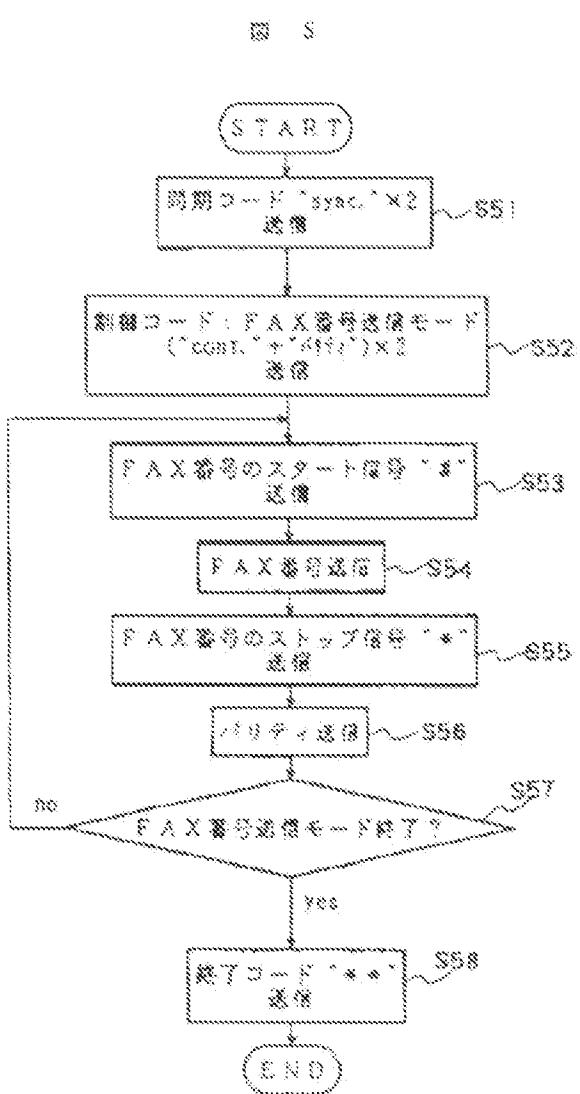
10



۱۰۰



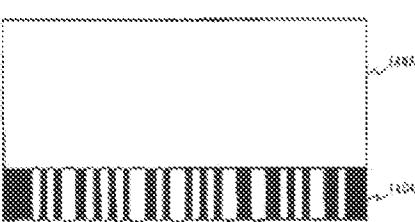
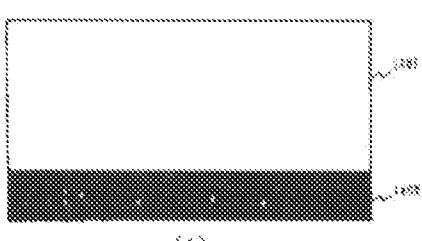
230



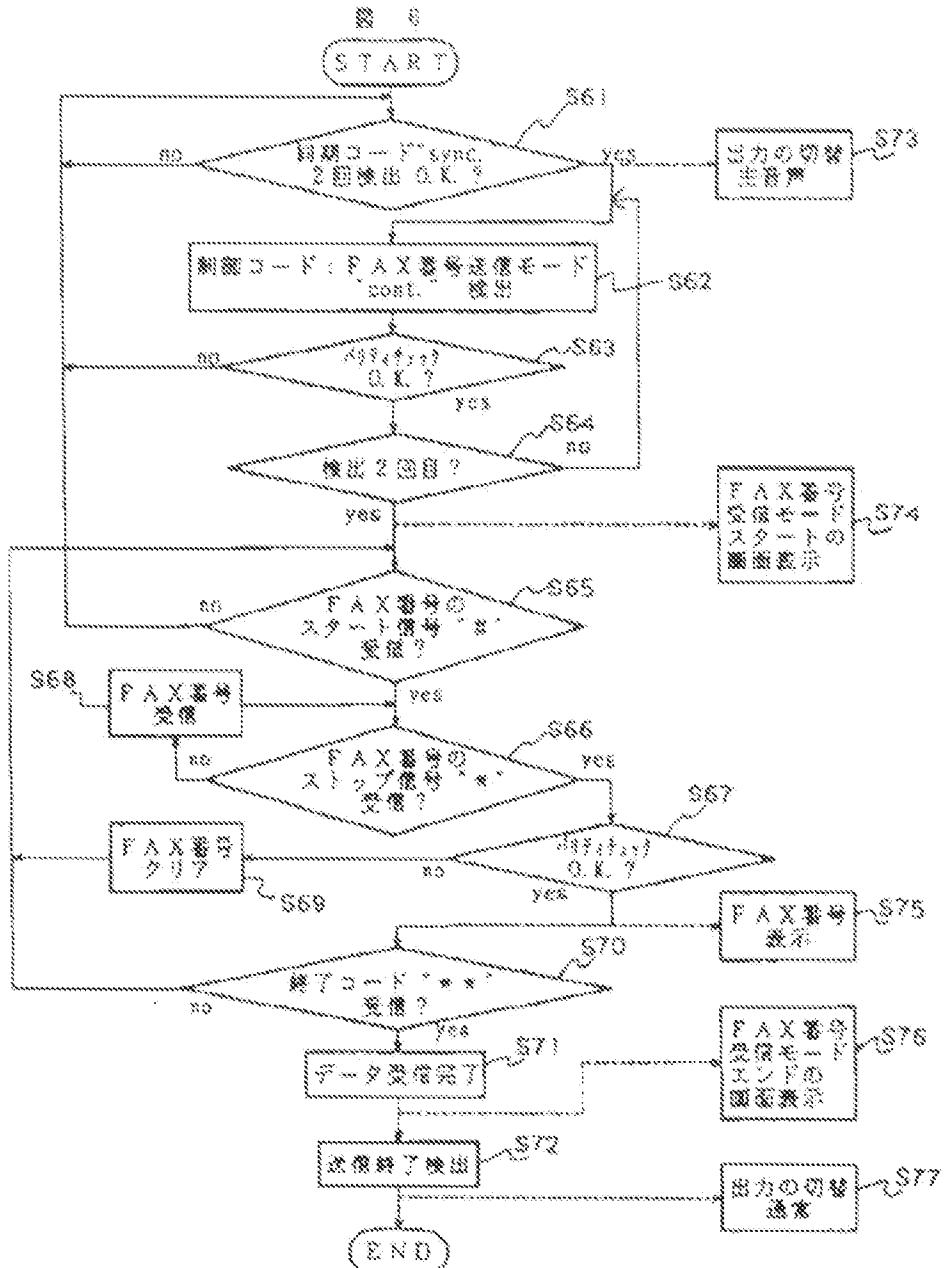
卷之三



卷之三



(S61)



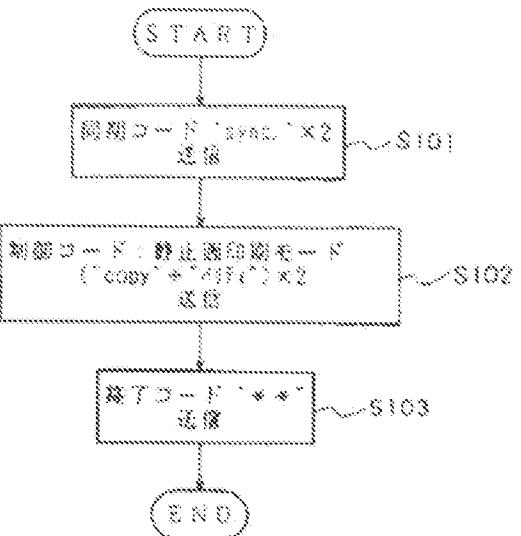
11

3

アドレス	端末、PLA等番号	グループ	基幹大	---
0000000000	端末番号1	00005	0000 0000	---
0000000001	端末番号2	00006	0000 0001	---
0000000002	PLA番号1	00001	0000 0002	---
0000000003	PLA番号2	00002	0000 0003	---
0000000004	PLA番号3	00003	0000 0004	---
0000000005	PLA番号4	00004	0000 0005	---
0000000006	PLA番号5	00005	0000 0006	---
0000000007	PLA番号6	00006	0000 0007	---
0000000008	PLA番号7	00007	0000 0008	---
0000000009	PLA番号8	00008	0000 0009	---
0000000010	PLA番号9	00009	0000 0010	---
0000000011	PLA番号10	0000A	0000 0011	---
0000000012	PLA番号11	0000B	0000 0012	---
0000000013	PLA番号12	0000C	0000 0013	---
0000000014	PLA番号13	0000D	0000 0014	---
0000000015	PLA番号14	0000E	0000 0015	---
0000000016	PLA番号15	0000F	0000 0016	---
0000000017	PLA番号16	00000	0000 0017	---
0000000018	PLA番号17	00001	0000 0018	---
0000000019	PLA番号18	00002	0000 0019	---
0000000020	PLA番号19	00003	0000 0020	---
0000000021	PLA番号20	00004	0000 0021	---
0000000022	PLA番号21	00005	0000 0022	---
0000000023	PLA番号22	00006	0000 0023	---
0000000024	PLA番号23	00007	0000 0024	---
0000000025	PLA番号24	00008	0000 0025	---
0000000026	PLA番号25	00009	0000 0026	---
0000000027	PLA番号26	0000A	0000 0027	---
0000000028	PLA番号27	0000B	0000 0028	---
0000000029	PLA番号28	0000C	0000 0029	---
0000000030	PLA番号29	0000D	0000 0030	---
0000000031	PLA番号30	0000E	0000 0031	---
0000000032	PLA番号31	0000F	0000 0032	---
0000000033	PLA番号32	00000	0000 0033	---
0000000034	PLA番号33	00001	0000 0034	---
0000000035	PLA番号34	00002	0000 0035	---
0000000036	PLA番号35	00003	0000 0036	---
0000000037	PLA番号36	00004	0000 0037	---
0000000038	PLA番号37	00005	0000 0038	---
0000000039	PLA番号38	00006	0000 0039	---
0000000040	PLA番号39	00007	0000 0040	---
0000000041	PLA番号40	00008	0000 0041	---
0000000042	PLA番号41	00009	0000 0042	---
0000000043	PLA番号42	0000A	0000 0043	---
0000000044	PLA番号43	0000B	0000 0044	---
0000000045	PLA番号44	0000C	0000 0045	---
0000000046	PLA番号45	0000D	0000 0046	---
0000000047	PLA番号46	0000E	0000 0047	---
0000000048	PLA番号47	0000F	0000 0048	---
0000000049	PLA番号48	00000	0000 0049	---
0000000050	PLA番号49	00001	0000 0050	---
0000000051	PLA番号50	00002	0000 0051	---
0000000052	PLA番号51	00003	0000 0052	---
0000000053	PLA番号52	00004	0000 0053	---
0000000054	PLA番号53	00005	0000 0054	---
0000000055	PLA番号54	00006	0000 0055	---
0000000056	PLA番号55	00007	0000 0056	---
0000000057	PLA番号56	00008	0000 0057	---
0000000058	PLA番号57	00009	0000 0058	---
0000000059	PLA番号58	0000A	0000 0059	---
0000000060	PLA番号59	0000B	0000 0060	---
0000000061	PLA番号60	0000C	0000 0061	---
0000000062	PLA番号61	0000D	0000 0062	---
0000000063	PLA番号62	0000E	0000 0063	---
0000000064	PLA番号63	0000F	0000 0064	---
0000000065	PLA番号64	00000	0000 0065	---
0000000066	PLA番号65	00001	0000 0066	---
0000000067	PLA番号66	00002	0000 0067	---
0000000068	PLA番号67	00003	0000 0068	---
0000000069	PLA番号68	00004	0000 0069	---
0000000070	PLA番号69	00005	0000 0070	---
0000000071	PLA番号70	00006	0000 0071	---
0000000072	PLA番号71	00007	0000 0072	---
0000000073	PLA番号72	00008	0000 0073	---
0000000074	PLA番号73	00009	0000 0074	---
0000000075	PLA番号74	0000A	0000 0075	---
0000000076	PLA番号75	0000B	0000 0076	---
0000000077	PLA番号76	0000C	0000 0077	---
0000000078	PLA番号77	0000D	0000 0078	---
0000000079	PLA番号78	0000E	0000 0079	---
0000000080	PLA番号79	0000F	0000 0080	---
0000000081	PLA番号80	00000	0000 0081	---
0000000082	PLA番号81	00001	0000 0082	---
0000000083	PLA番号82	00002	0000 0083	---
0000000084	PLA番号83	00003	0000 0084	---
0000000085	PLA番号84	00004	0000 0085	---
0000000086	PLA番号85	00005	0000 0086	---
0000000087	PLA番号86	00006	0000 0087	---
0000000088	PLA番号87	00007	0000 0088	---
0000000089	PLA番号88	00008	0000 0089	---
0000000090	PLA番号89	00009	0000 0090	---
0000000091	PLA番号90	0000A	0000 0091	---
0000000092	PLA番号91	0000B	0000 0092	---
0000000093	PLA番号92	0000C	0000 0093	---
0000000094	PLA番号93	0000D	0000 0094	---
0000000095	PLA番号94	0000E	0000 0095	---
0000000096	PLA番号95	0000F	0000 0096	---
0000000097	PLA番号96	00000	0000 0097	---
0000000098	PLA番号97	00001	0000 0098	---
0000000099	PLA番号98	00002	0000 0099	---
00000000A0	PLA番号99	00003	0000 00A0	---
00000000A1	PLA番号A0	00004	0000 00A1	---
00000000A2	PLA番号A1	00005	0000 00A2	---
00000000A3	PLA番号A2	00006	0000 00A3	---
00000000A4	PLA番号A3	00007	0000 00A4	---
00000000A5	PLA番号A4	00008	0000 00A5	---
00000000A6	PLA番号A5	00009	0000 00A6	---
00000000A7	PLA番号A6	0000A	0000 00A7	---
00000000A8	PLA番号A7	0000B	0000 00A8	---
00000000A9	PLA番号A8	0000C	0000 00A9	---
00000000AA	PLA番号A9	0000D	0000 00AA	---
00000000AB	PLA番号AA	0000E	0000 00AB	---
00000000AC	PLA番号AB	0000F	0000 00AC	---
00000000AD	PLA番号AC	00000	0000 00AD	---
00000000AE	PLA番号AD	00001	0000 00AE	---
00000000AF	PLA番号AE	00002	0000 00AF	---
00000000B0	PLA番号AF	00003	0000 00B0	---
00000000B1	PLA番号B0	00004	0000 00B1	---
00000000B2	PLA番号B1	00005	0000 00B2	---
00000000B3	PLA番号B2	00006	0000 00B3	---
00000000B4	PLA番号B3	00007	0000 00B4	---
00000000B5	PLA番号B4	00008	0000 00B5	---
00000000B6	PLA番号B5	00009	0000 00B6	---
00000000B7	PLA番号B6	0000A	0000 00B7	---
00000000B8	PLA番号B7	0000B	0000 00B8	---
00000000B9	PLA番号B8	0000C	0000 00B9	---
00000000BA	PLA番号B9	0000D	0000 00BA	---
00000000BB	PLA番号BA	0000E	0000 00BB	---
00000000BC	PLA番号BB	0000F	0000 00BC	---
00000000BD	PLA番号BC	00000	0000 00BD	---
00000000BE	PLA番号BD	00001	0000 00BE	---
00000000BF	PLA番号BE	00002	0000 00BF	---
00000000C0	PLA番号BF	00003	0000 00C0	---
00000000C1	PLA番号C0	00004	0000 00C1	---
00000000C2	PLA番号C1	00005	0000 00C2	---
00000000C3	PLA番号C2	00006	0000 00C3	---
00000000C4	PLA番号C3	00007	0000 00C4	---
00000000C5	PLA番号C4	00008	0000 00C5	---
00000000C6	PLA番号C5	00009	0000 00C6	---
00000000C7	PLA番号C6	0000A	0000 00C7	---
00000000C8	PLA番号C7	0000B	0000 00C8	---
00000000C9	PLA番号C8	0000C	0000 00C9	---
00000000CA	PLA番号C9	0000D	0000 00CA	---
00000000CB	PLA番号CA	0000E	0000 00CB	---
00000000CC	PLA番号CB	0000F	0000 00CC	---
00000000CD	PLA番号CC	00000	0000 00CD	---
00000000CE	PLA番号CD	00001	0000 00CE	---
00000000CF	PLA番号CE	00002	0000 00CF	---
00000000D0	PLA番号CF	00003	0000 00D0	---
00000000D1	PLA番号D0	00004	0000 00D1	---
00000000D2	PLA番号D1	00005	0000 00D2	---
00000000D3	PLA番号D2	00006	0000 00D3	---
00000000D4	PLA番号D3	00007	0000 00D4	---
00000000D5	PLA番号D4	00008	0000 00D5	---
00000000D6	PLA番号D5	00009	0000 00D6	---
00000000D7	PLA番号D6	0000A	0000 00D7	---
00000000D8	PLA番号D7	0000B	0000 00D8	---
00000000D9	PLA番号D8	0000C	0000 00D9	---
00000000DA	PLA番号D9	0000D	0000 00DA	---
00000000DB	PLA番号DA	0000E	0000 00DB	---
00000000DC	PLA番号DB	0000F	0000 00DC	---
00000000DD	PLA番号DC	00000	0000 00DD	---
00000000DE	PLA番号DD	00001	0000 00DE	---
00000000DF	PLA番号DE	00002	0000 00DF	---
00000000E0	PLA番号DF	00003	0000 00E0	---
00000000E1	PLA番号E0	00004	0000 00E1	---
00000000E2	PLA番号E1	00005	0000 00E2	---
00000000E3	PLA番号E2	00006	0000 00E3	---
00000000E4	PLA番号E3	00007	0000 00E4	---
00000000E5	PLA番号E4	00008	0000 00E5	---
00000000E6	PLA番号E5	00009	0000 00E6	---
00000000E7	PLA番号E6	0000A	0000 00E7	---
00000000E8	PLA番号E7	0000B	0000 00E8	---
00000000E9	PLA番号E8	0000C	0000 00E9	---
00000000EA	PLA番号E9	0000D	0000 00EA	---
00000000EB	PLA番号EA	0000E	0000 00EB	---
00000000EC	PLA番号EB	0000F	0000 00EC	---
00000000ED	PLA番号EC	00000	0000 00ED	---
00000000EE	PLA番号ED	00001	0000 00EE	---
00000000EF	PLA番号ED	00002	0000 00EF	---
00000000F0	PLA番号EF	00003	0000 00F0	---
00000000F1	PLA番号F0	00004	0000 00F1	---
00000000F2	PLA番号F1	00005	0000 00F2	---
00000000F3	PLA番号F2	00006	0000 00F3	---
00000000F4	PLA番号F3	00007	0000 00F4	---
00000000F5	PLA番号F4	00008	0000 00F5	---
00000000F6	PLA番号F5	00009	0000 00F6	---
00000000F7	PLA番号F6	0000A	0000 00F7	---
00000000F8	PLA番号F7	0000B	0000 00F8	---
00000000F9	PLA番号F8	0000C	0000 00F9	---
00000000FA	PLA番号F9	0000D	0000 00FA	---
00000000FB	PLA番号FA	0000E	0000 00FB	---
00000000FC	PLA番号FB	0000F	0000 00FC	---
00000000FD	PLA番号FC	00000	0000 00FD	---
00000000FE	PLA番号FD	00001	0000 00FE	---
00000000FF	PLA番号FD	00002	0000 00FF	---
0000000000	PLA番号FF	00003	0000 0000	---
0000000001	PLA番号00	00004	0000 0001	---
0000000002	PLA番号01	00005	0000 0002	---
0000000003	PLA番号02	00006	0000 0003	---
0000000004	PLA番号03	00007	0000 0004	---
0000000005	PLA番号04	00008	0000 0005	---
0000000006	PLA番号05	00009	0000 0006	---
0000000007	PLA番号06	0000A	0000 0007	---
0000000008	PLA番号07	0000B	0000 0008	---
0000000009	PLA番号08	0000C	0000 0009	---
000000000A	PLA番号09	0000D	000	

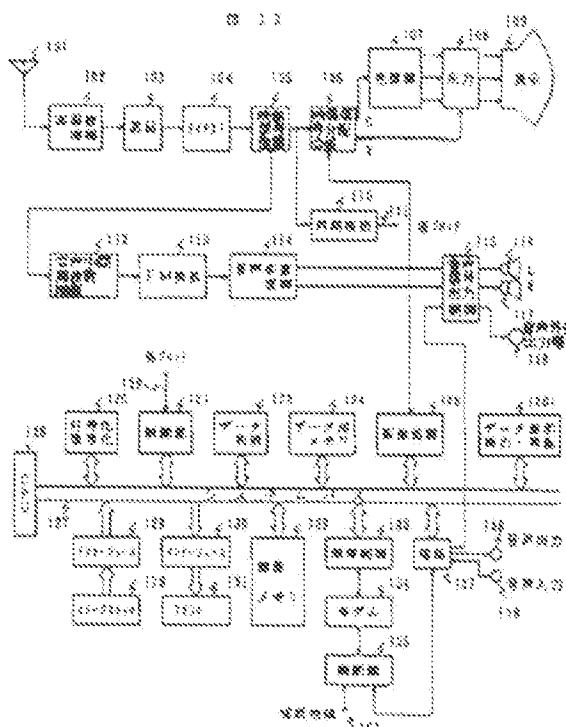
100

- 6 -



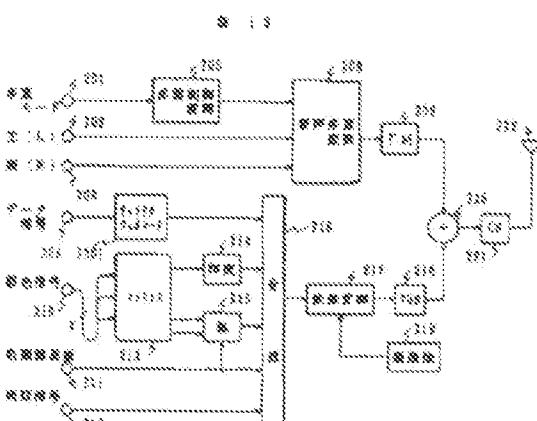
180 J. S. G.

22



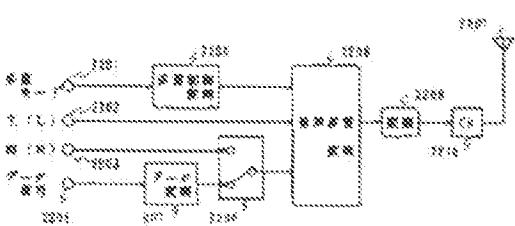
三

iii



卷之三

22

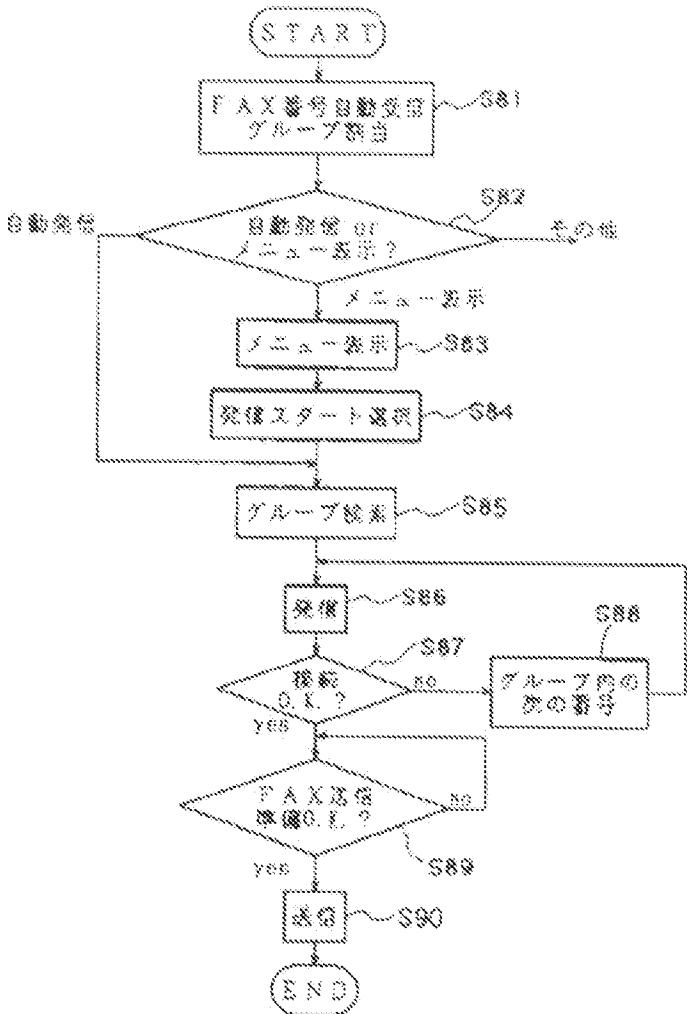


00

特開平6-8849

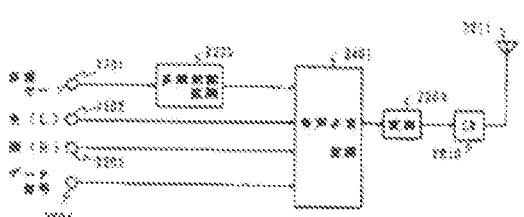
(図2)

図 2



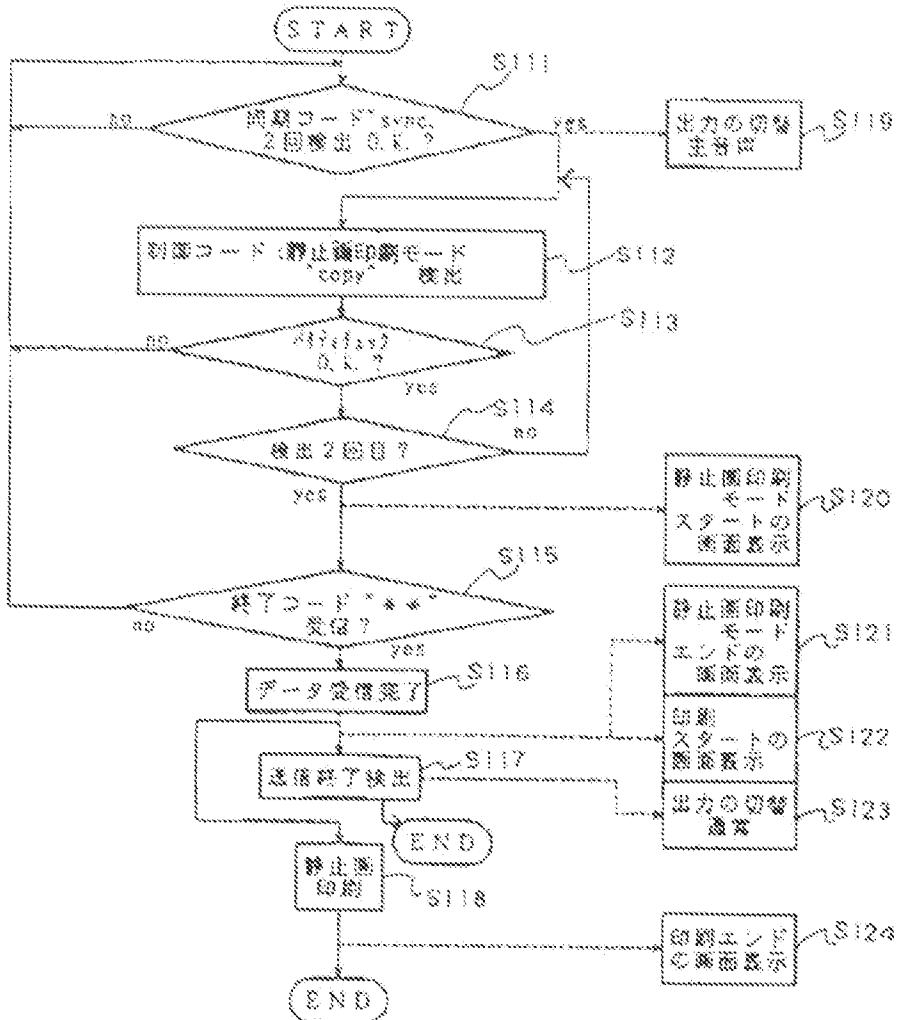
(図2-4)

** **

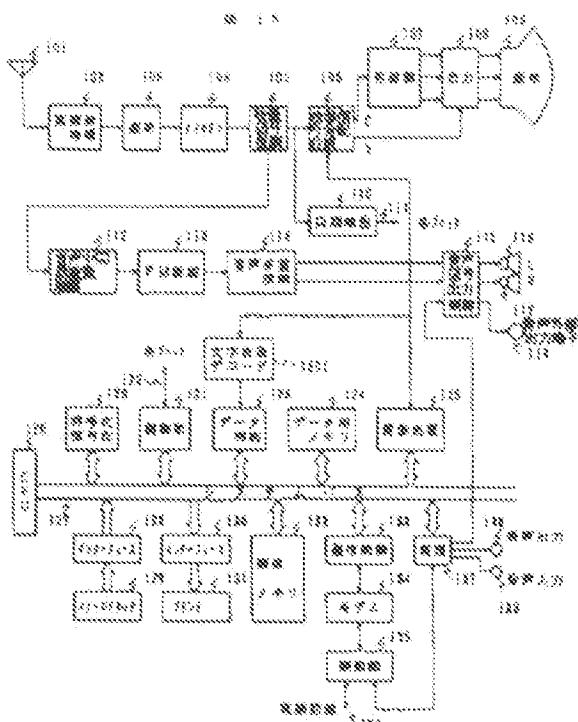


【図11】

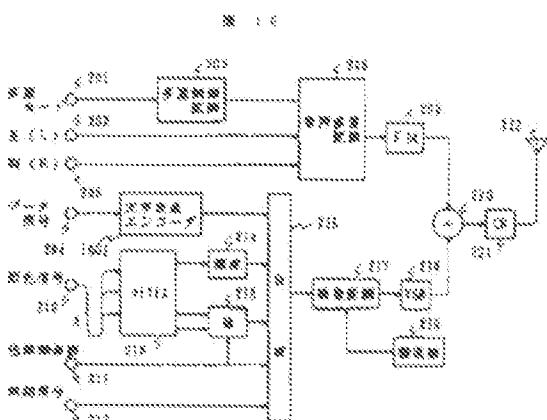
◎ 3.1



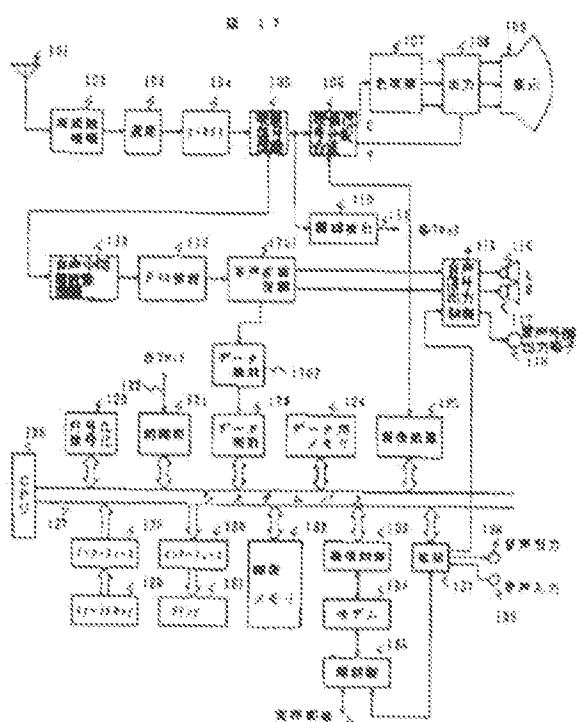
1922-1930



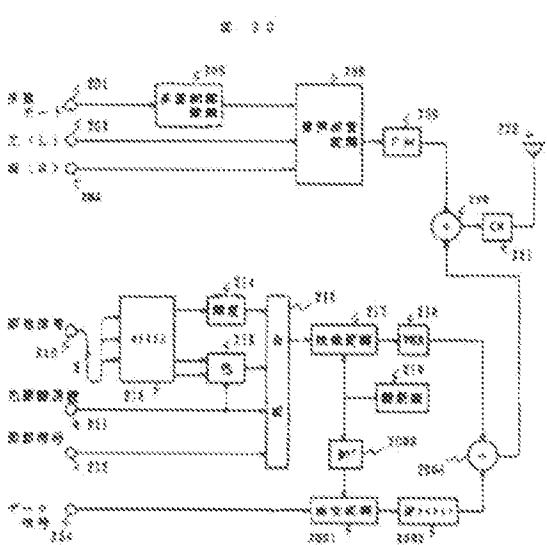
1000



二〇〇〇年



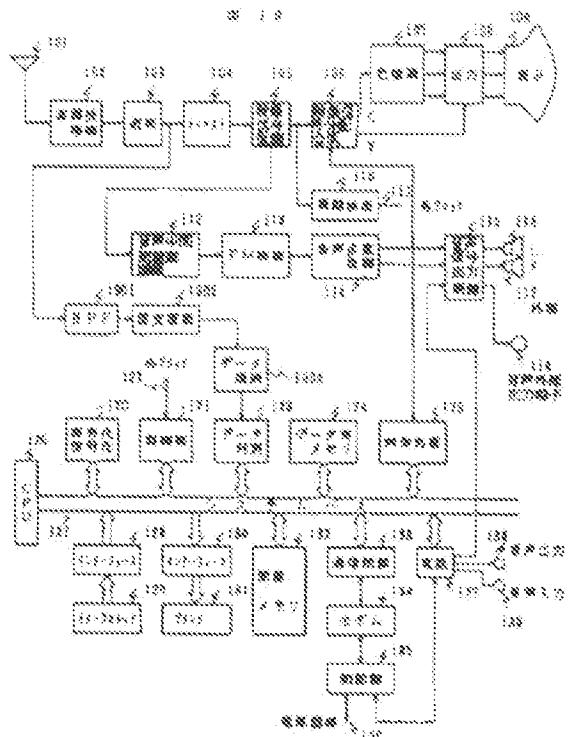
100 3 9



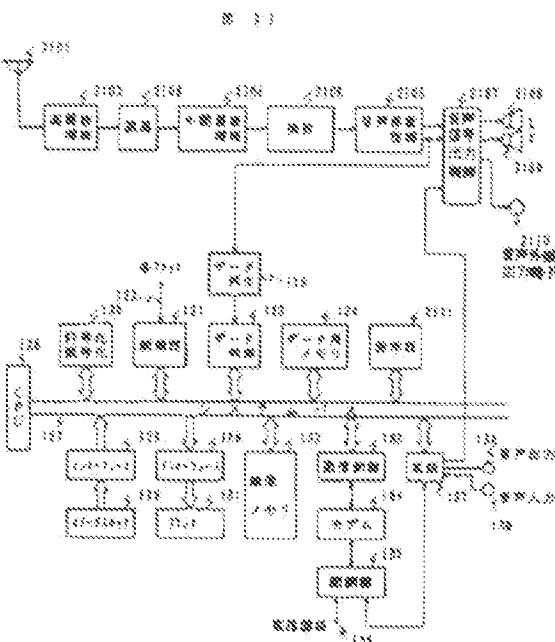
220

卷之三

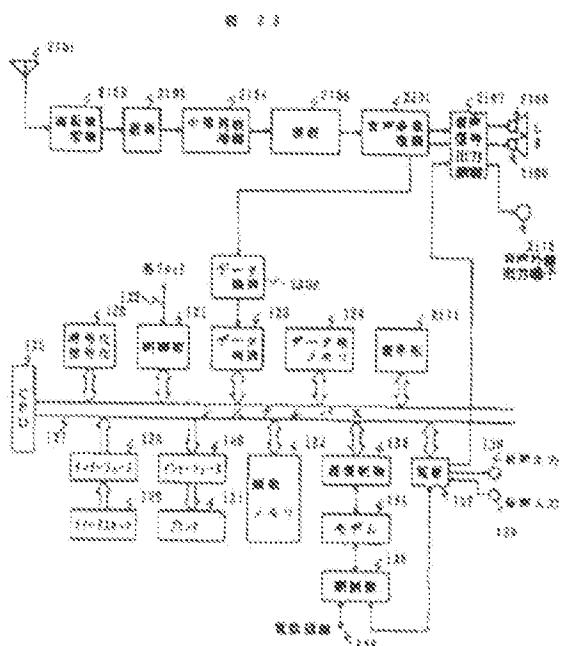
200



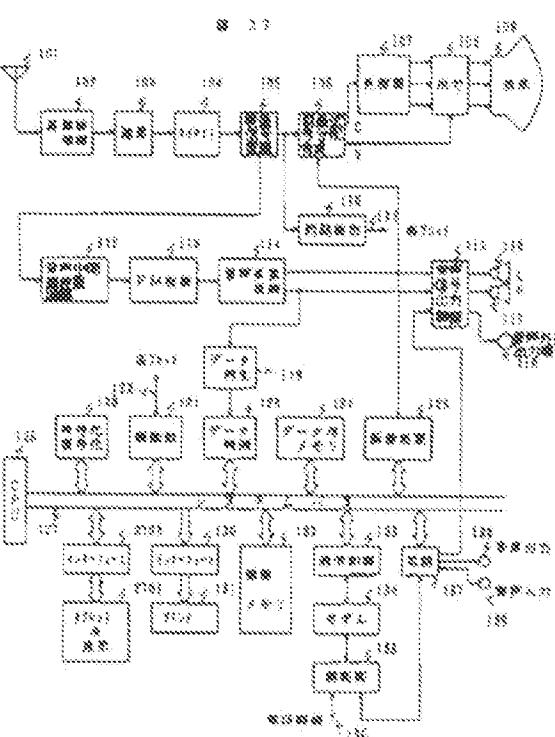
卷之三



卷之三



23

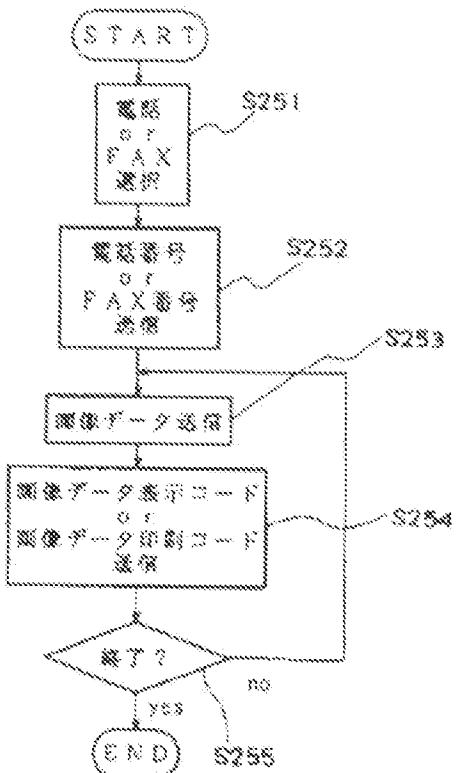


(39)

特許第8-0849

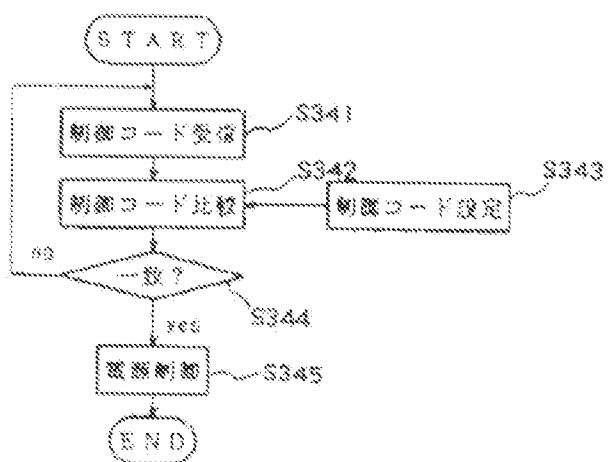
〔図35〕

G 25



〔図36〕

G 33

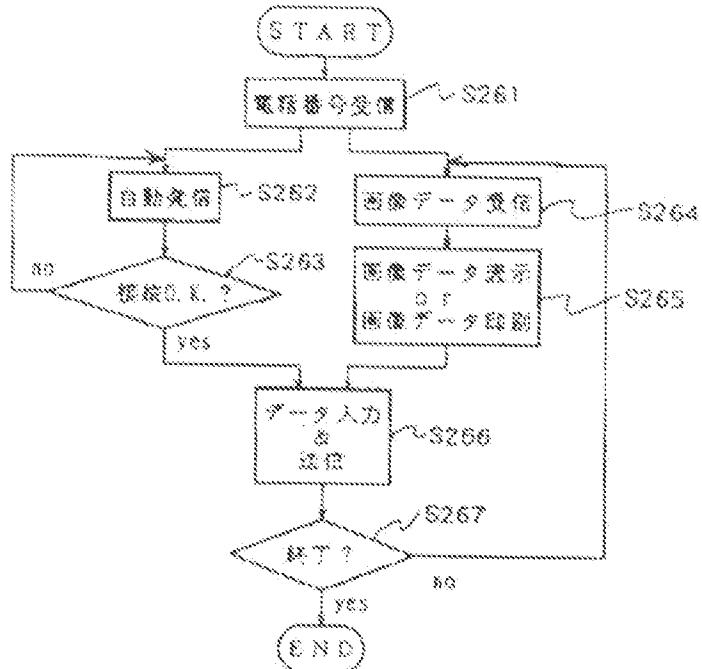


A30

特許平33-8649

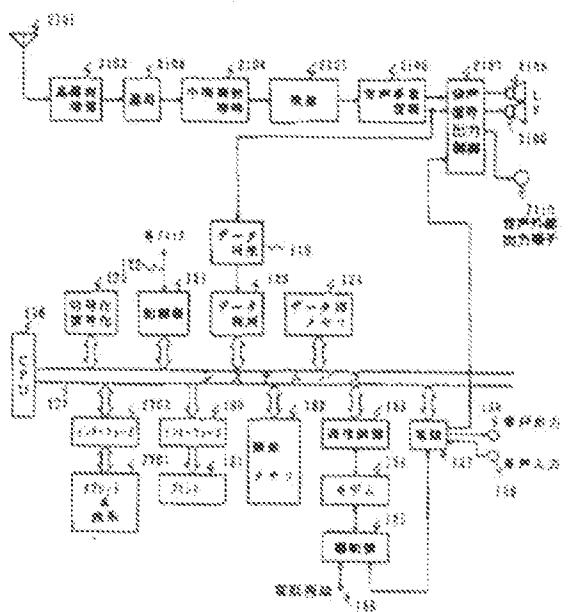
[図26]

S 26



[図30]

S 30

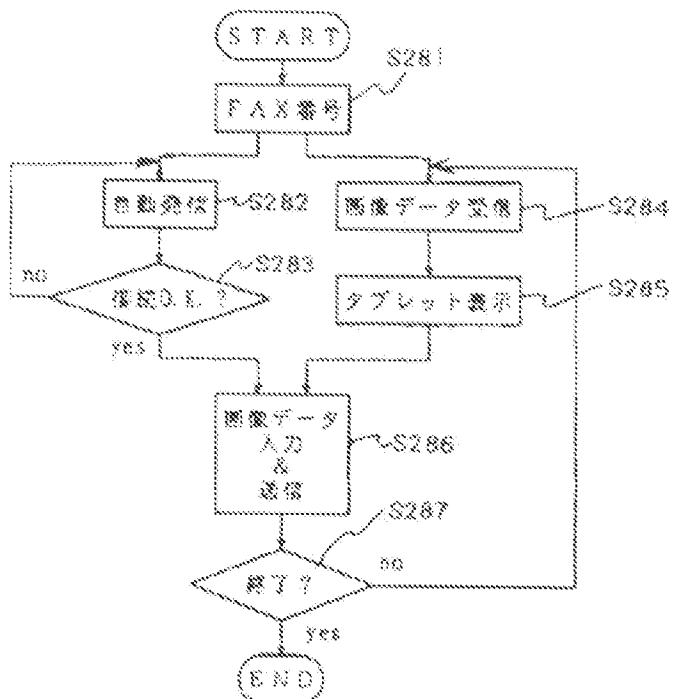


333

新編卷之三

卷之三

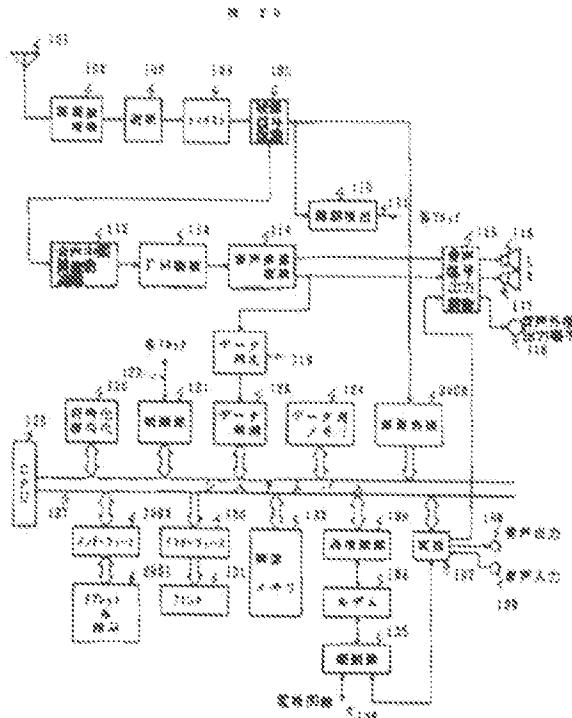
222



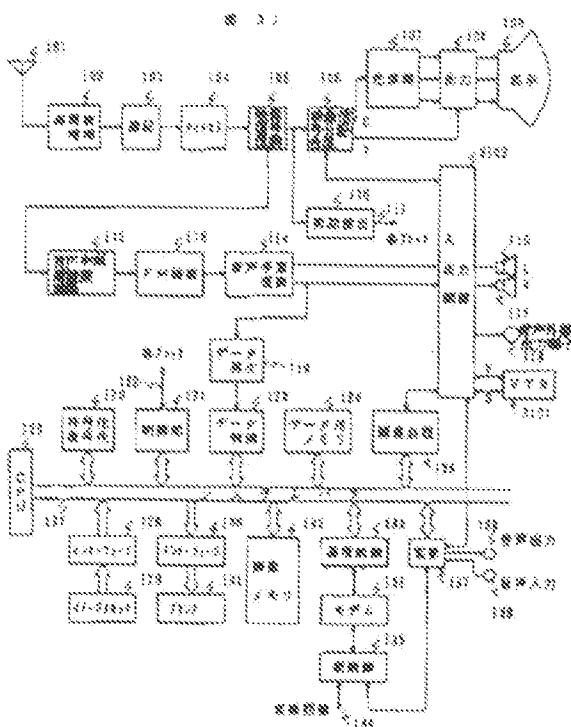
30

機密 0 - 8 8 4 9

[圖 3-9]



[圖 3-11]

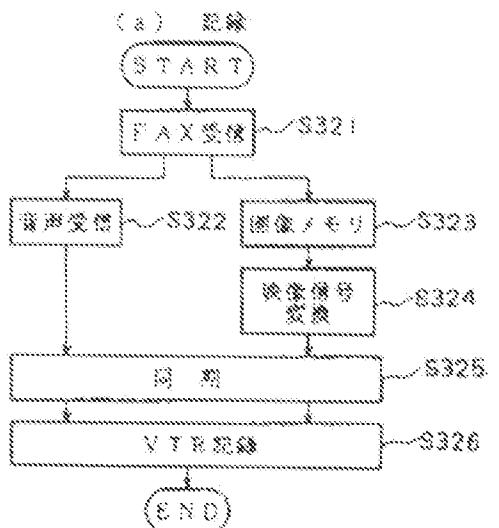


(33)

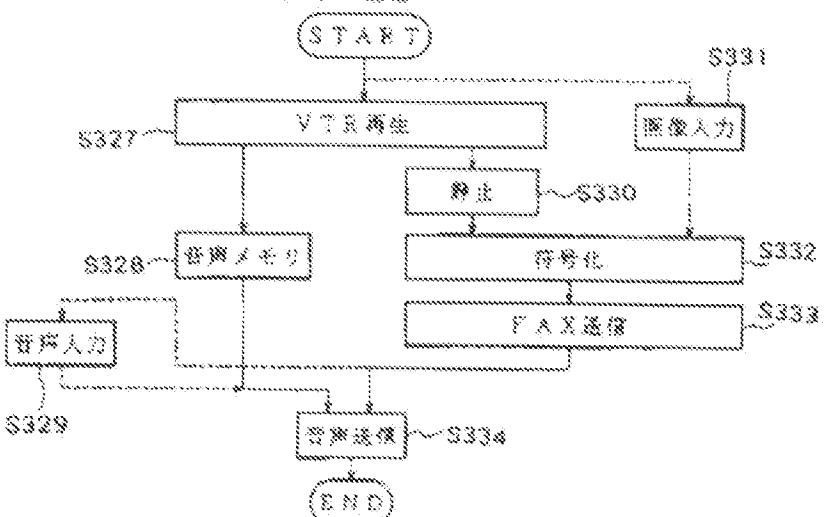
特開平6-8849

{(33-2)}

図 3-2



(b) 送信



スクリントページの続き

(33) 発明者 桑中 実

神奈川県横浜市戸塚区吉田町282番地 1
株式会社ビビ製作所 V映像事業部内

(33) 発明者 砂原 良二

神奈川県横浜市戸塚区吉田町282番地 1
株式会社ビビ製作所映像ニアノア研究開発内

上の経緯信号及びデータ信号は、上記チャネル放送信号に含まれる映像信号に時分割で重畠されており、

上記受信手段は、上記映像信号を復調することを特徴とする放送信号再生装置。

【請求項6】 請求項5記載の放送信号受信装置において、

上記再生手段は、

上記映像信号及びデータ信号が多重されている多収録映像装置の間、上記映像信号を出力する多収録映像頭出し手段と、

上記多収録映像頭出し手段の出力段から上記映像信号及びデータ信号を抽出する抽出手段とを有することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項7】 請求項6記載の放送信号受信装置において、

上記多収録映像装置は、テレビ画面にお像が映射されない期間の一端であることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項8】 請求項7記載の放送信号受信装置において、

上記多収録映像装置は、該多収録映像装置の出力段に接続され、該多収録映像装置の出力段の出力を受けている音声放送装置であり、

上記多収録映像装置は、上記文字放送装置の第1段の映像信号を出力し、

上記映像信号は、上記文字放送を復調することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項9】 請求項1または2記載の放送信号受信装置において、

上記映像信号は、ラジオ放送信号であることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項10】 請求項9記載の放送信号受信装置において、

上記ラジオ放送信号は、AM放送信号、FM放送信号、またはFMステレオ放送信号のいずれかであることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項11】 請求項9または10記載の放送信号受信装置において、

上記受信手段は、上記ラジオ受信手段に多重された制御手段及びデータ信号を復調して、出力し、

上記再生手段は、上記受信手段の出力から上記制御手段及びデータ信号を抽出することを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項12】 外部と通信回線により連絡を行う通信装置において、

データは専用バスと通信回路を制御するための制御信号を含む放送信号を、外部から放送回線を介して受信する通信手段と、

上記受信手段の出力信号から上記制御信号及びデータ信号を再生する再生手段と、

上記再生手段で再生された上記制御信号によって、上記制御手段、再生手段、及び通信装置のうち少なくとも1

つを制御する制御手段とを有することを特徴とする通信装置。

【請求項13】 請求項12記載の通信装置において、該複数手段と音声信号とを複数及び再生する複数再生手段と、

該複数再生手段と音声信号とを複数及び再生する複数再生手段と、

上記複数再生手段を外部に出力するとともに、外部からのディジタル信号を受信する複数通信手段と、

上記複数通信手段が受信したディジタル信号を再生して画像として表示する画像出力手段と、

アダプタ信号を受信する複数を受ける音声入力手段と、

上記受信手段がアダプタ信号を外部に出力するとともに、外部からのアダプタ信号である音声を受けるアダプタ通信手段と、

上記アダプタ通信手段が受信した音声を出力する音声出力手段と、

上記画像出力手段及び上記音声出力手段から入力された上記ディジタル信号を、上記複数再生手段で処理して、上記映像信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換する映像信号変換手段と、

上記映像信号を出力する映像信号を、上記ディジタル信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号に変換するディジタル信号変換手段と、

上記映像信号を受けて、上記映像信号を変換手段の出力を上記映像再生手段に送り、上記映像再生手段の出力のうち映像信号を上記ディジタル信号変換手段に送り、上記アダプタ通信手段に入力された音声信号を上記映像再生手段に入り、上記映像再生手段の出力のうち音声信号を上記アダプタ通信手段に送り、上記音声信号を有する信号を音声出力手段に変換する音声信号出力手段と、

上記映像信号を受けて、上記映像信号を変換手段の出力を上記映像再生手段に送り、上記映像再生手段の出力のうち映像信号を上記ディジタル信号変換手段に送り、上記アダプタ通信手段に入力された音声信号を上記映像再生手段に入り、上記映像再生手段の出力のうち音声信号を上記アダプタ通信手段に送り、上記音声信号を有する信号を音声信号出力手段に変換する音声信号出力手段と、

【請求項14】 放送回線を介して放送信号を送信する放送機器と通信装置において、

放送の対象となる信号とは異なり、制御信号及びデータ信号を含む送信手段で実現された、上記放送の対象となる信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する信号を出力するデバイス端子と、

上記音声手段の出力する信号と上記放送の対象となる信号とを合成して放送信号を出力する合成手段とを有し、上記制御手段は、上記放送信号を受信する装置を実現するための信号であることを特徴とする放送信号受信装置。

【請求項15】 映像信号及びデータ信号を含む放送信号を、外部から放送回線を介して受信する放送信号受信方法において、

上記映像信号を介して上記放送信号を受信し、

上記受信された放送信号から上記映像信号及びデータ信号を再生し、

再生された上記映像信号に接って、内部との通信回線により通す、上記受信、上記再生のうち少なくとも1つを

解説文もこれを基準とする放送信号受信方法。

【請求項1-6】請求項1-5記載の放送信号受信方法において、

上記通信は、ファクシミリ通信及び音楽による通信のうち少なくとも1つを含み、

上記ファクシミリ通信では、

画像情報を読み取り、読み取った画像情報を符号化してデジタル信号とし、

上記デジタル信号を外部に出力するとともに、外部からのデジタル信号を受信し、

上記受信したデジタル信号を符号化して画像として出力し、

上記映像による通信では、

アナログ信号である音声を受付け、

上記受けたアナログ信号を外部に出力するとともに、外部からアナログ信号である音声を受付け、

上記受けた音声を出力することを映像とする映像受信方法。

【請求項1-7】請求項1-6記載の放送信号受信方法において、

上記通信は、ファクシミリ通信及び音楽による通信のうち少なくとも1つを含み、

上記ファクシミリ通信では、

画像情報を読み取り、読み取った画像情報を符号化してデジタル信号とし、

上記デジタル信号を外部に出力するとともに、外部からのデジタル信号を受信し、

上記受信したデジタル信号を符号化して画像として出力し、

上記モードによる通信では、

上記データ信号を受付け、デジタルアナログ変換により、アナログ音声信号に変換し、

上記変換後の信号を出力することを映像とする映像受信方法。

【請求項1-8】請求項1-6記載の放送信号受信方法において、

上記別途信号により、上記データ信号が通信先を示すデータであることを識別することを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項1-9】請求項1-8記載の放送信号受信方法において、

上記別途信号を示すデータを認識後、ファクシミリ通信あるいは音楽による通信のうちいずれか少なくとも1つを用いること、上記別途信号が指定位する通信方法により、上記通信先を示すデータに従って、通信を行うことを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項1-10】請求項1-8記載の放送信号受信方法において、

複数の上記通信先を示すデータを、データベースに蓄えることが可能である識別信号とともに登録。

上記識別信号により用いてデータに示すと翻訳されるか上記通信先に対して、上記通信先を示すデータを用いて該データを示しを示し、該使用した結果による通信先を表示し、

上記通信可能な通信先に対して通信を行なうことを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項2-1】外部と通信回線により通信を行なう映像受信装置において、

映像信号及びデータ信号を含む映像信号を外部から受信するための映像回線をして上記映像信号を受信し、

上記受信した映像から上記映像信号を抽出し、

上記抽出された上記映像信号に従って、上記映像、音楽、及び再生された映像のうち少なくとも1つを複数することを特徴とする通信方法。

【請求項2-2】請求項2-1記載の映像方法において、

映像信号と音声信号とを記録及び再生し、

映像信号を受信は、受信した映像情報を再生してディジタル信号とし、

上記ディジタル信号を外部に出力するとともに、外部からのディジタル信号を受信し、

上記受信したディジタル信号を符号化して画像として出力し、

アナログ信号である音声を受付け、

上記受付たアナログ信号を外部に出力するとともに、外部からアナログ信号である音声を受付け、

上記受付た音声を出力し、

上記映像信号を符号化したディジタル信号、及び外部からの上記ディジタル信号のうち少なくとも1つを、上記映像再生時に使用している映像信号のファーマットと同一のフォーマットで記録する装置に変換し、

上記映像信号を受けて、上記映像信号に記録された信号を記録し、上記再生された映像信号をディジタル信号に変換して外部に出力し、外部から受付た音声信号を記録し、上記再生された音声信号を外部に出力することを特徴とする通信方法。

【請求項2-3】映像回線を利用して映像信号を送信する放送信号受信方法において、

放送の対象となる信号とは異なる、複数信号及びデータ信号を含む映像信号で構成された、上記映像の対象となる信号のフォーマットと同一のフォーマットを有する映像信号を示す。

上記構成された信号と上記映像の対象となる映像を合成して映像信号を出力し、

上記映像信号は、上記放送信号を受信する装置を制御するための信号であることを特徴とする放送信号受信方法。

【請求項2-4】請求項2-3記載の映像信号受信方法に於

【補正】

上記の補正名は、上記制御信号により、上記データ信号外
部送信先を指定データであることを識別できるものであ
ることを特徴とする放送信号送信方法。

〔平成構造 3〕

〔補正対象番号名〕 制御番

〔補正付設項目名〕 0001

〔細則方法〕 裁定

【補正内容】

〔0001〕

〔審査上の利用分野〕 本範例は、放送信号受信方法、放
送信号送信方法、放送信号受信装置、放送信号送信装置
及び満足度に係わり、特に外部からの放送信号を受信
して、該信号に含まれる放送信号受信装置等を制御する
制御信号及びデータ信号を生成し、その制御信号によ
て外部を通信を行うことに関する。